

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

2016年度連結決算

2017年8月10日

株式会社 **東芝**

代表執行役専務

平田 政善

注意事項

- この資料には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
- 当社グループはグローバル企業として市場環境等が異なる国や地域で広く事業活動を行っているため、実際の業績は、これに起因する多様なリスクや不確実性（経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限りません。）により、当社の予測とは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。
- 注記が無い限り、表記の数値は全て連結ベースの12ヶ月累計です。
- 注記が無い限り、セグメント情報における業績を、現組織ベースに組み替えて表示しています。
- ウェスチングハウス社グループ、ヘルスケア事業および家庭電器事業に係る経営成績は、米国会計基準に基づき、連結損益計算書上非継続事業として取り扱われるため、注記が無い限り、売上高、営業損益、税引前損益には含まれておらず、過年度の数値を組み替えて表示しています。
- 当連結会計年度から、これまで各セグメントに配分していた「その他」の損益の一部を各セグメントに配分せず、「消去又は全社」に含めていた基礎的研究開発費等と併せて、「その他」に含めています。過年度の数字は変更後の算定方式により組み替えて表示しています。

全社

	15年度	16年度	差	対6/23時点 見通し	単位：億円
売上高	51,548	48,708	▲2,840	0	
営業損益 %	▲4,830 ▲9.4%	2,708 5.6%	7,538 15.0%	0 0.0%	
税引前損益 %	▲3,994 ▲7.7%	2,255 4.6%	6,249 12.3%	11 0.0%	
非支配持分控除前 継続事業当期純損益	▲6,458	1,199	7,657	▲2	
非支配持分控除前 非継続事業当期純損益	1,298	▲12,801	▲14,099	264	
当期純損益 %	▲4,600 ▲8.9%	▲9,657 ▲19.8%	▲5,057 ▲10.9%	295 0.6%	
1株当たり 当期純損益	▲¥108.64	▲¥228.08	▲¥119.44	¥6.97	
フリー・キャッシュ・フロー	6,522	▲448	▲6,970	0	
	16/3末	17/3末	差	対6/23時点 見通し	
株主資本	3,289	▲5,529	▲8,818	287	
株主資本比率	6.1%	▲13.0%	▲19.1%	0.6%	
純資産	6,723	▲2,757	▲9,480	282	
Net有利子負債	4,964	4,961	▲3	0	
Net D/E レシオ	151%	-	-	-	
期末日為替レート(米ドル)	¥113	¥112	▲¥1	¥0	

前回業績見通し(6/23公表)からの主な変更点

● WEC親会社保証額

- スキャナ電力と、親会社保証の履行内容について7/27（米国東部時間）に合意。同社への親会社保証の上限については、6/23見通し時点から変更なし。これにより米国AP1000プロジェクト4基に関する追加リスクを遮断。
- 米国AP1000プロジェクト以外の親会社保証については、一部の保証に関し6月末に保証解除の合意がなされたことにより、6/23見通し時点から非継続事業当期純損益で285億円の改善。

【親会社保証引当金計上額 内訳】

	16年度 計上額
親会社保証引当金	▲6,877
Southern	▲4,129
SCANA	▲2,432
その他	▲316

単位：億円

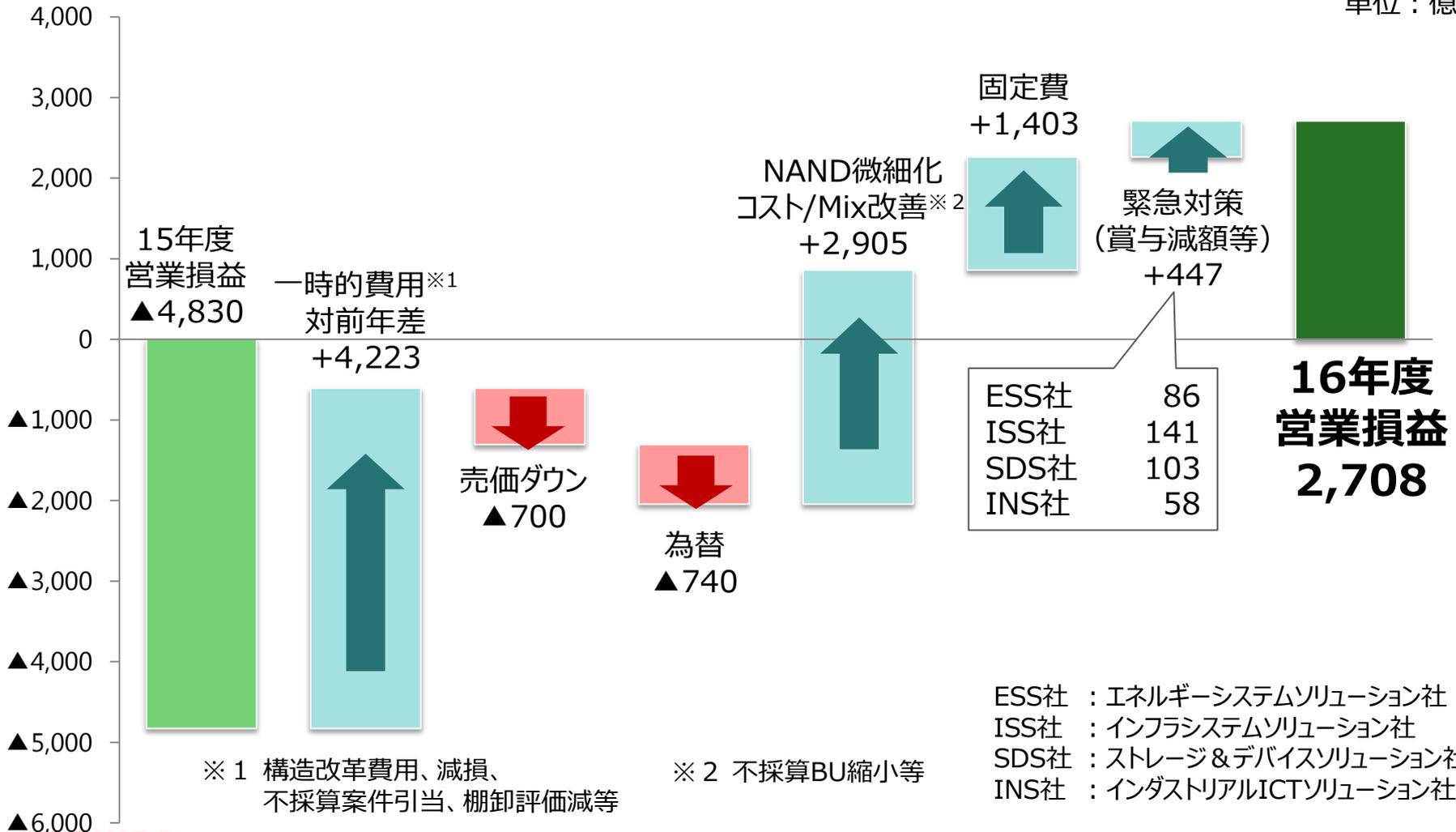


1. 全社業績

営業損益（対前年同期分析）

WECグループの非継続化に伴い、のれん減損損失を営業費用から除外
（チャプター11申立てに伴う損失は、非継続事業当期純損益にて計上）

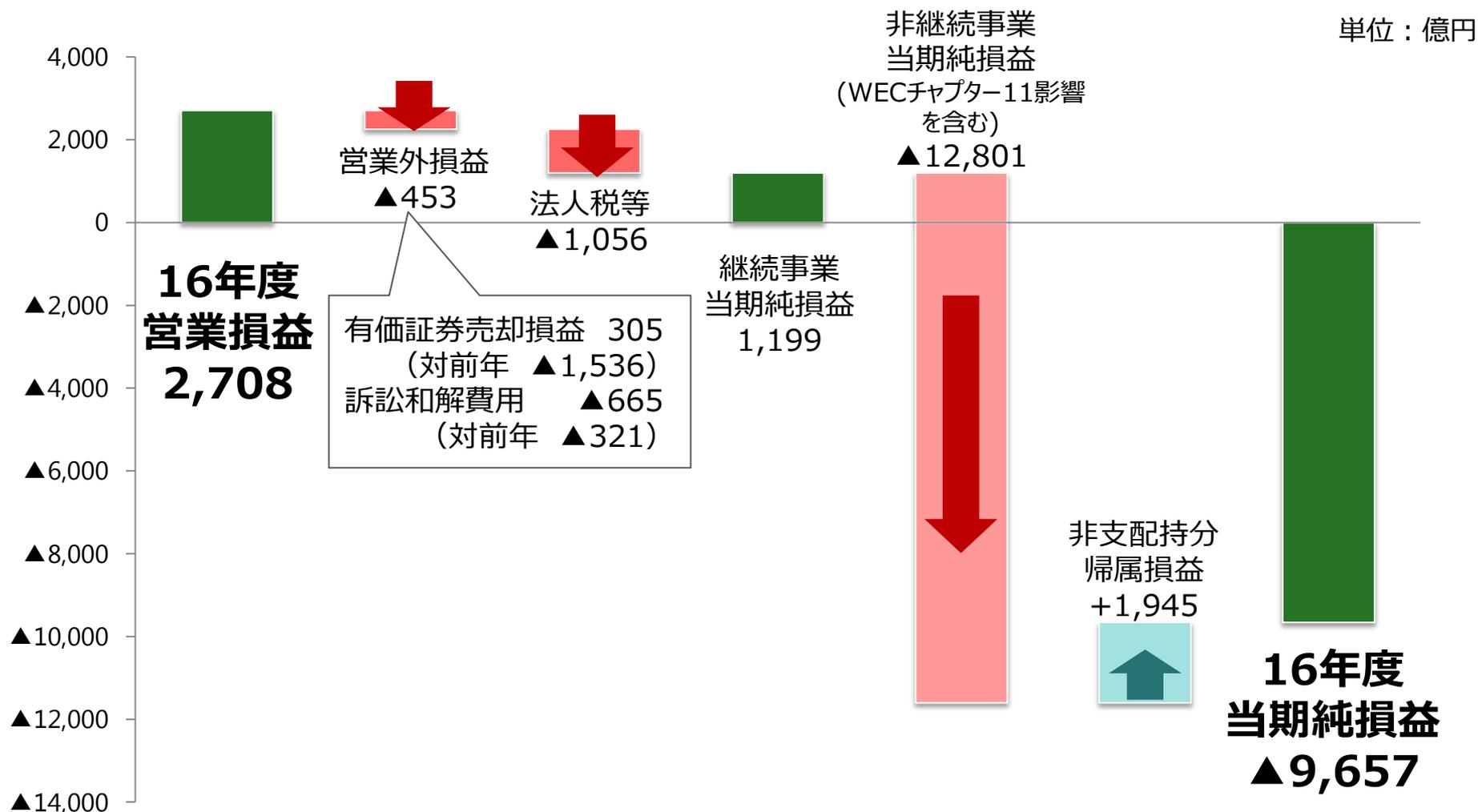
単位：億円



ESS社 : エネルギーシステムソリューション社
ISS社 : インフラシステムソリューション社
SDS社 : ストレージ&デバイスソリューション社
INS社 : インダストリアルICTソリューション社

当期純損益

WECグループのチャプター11申立てに伴う損失を非継続事業当期純損益にて計上



営業外損益

前年度の有価証券売却益の影響を除くと、全体として改善

単位：億円

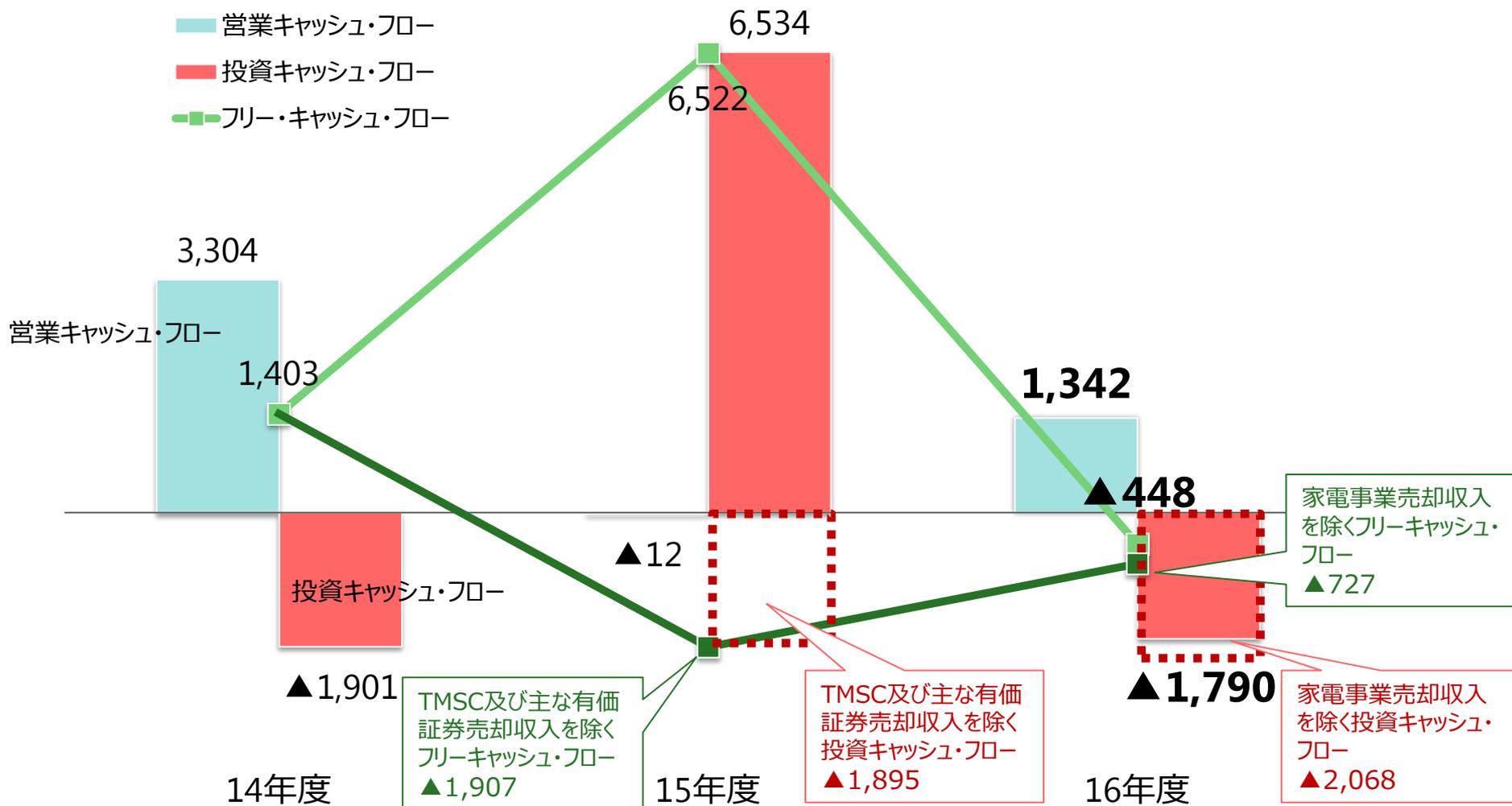
	15年度	16年度	差
金融収支	▲92	▲92	0
為替差損益	▲175	▲98	77
固定資産売却損益	▲86	136	222
有価証券売却損益	※ 1,841	305	▲1,536
構造改革費用	▲257	0	257
訴訟和解費用	▲344	▲665	▲321
その他	▲51	▲39	12
合計	836	▲453	▲1,289

※ フィンランド・コネ社、トプコン、NREG東芝不動産の株式売却益を含む

フリー・キャッシュ・フロー

15年度の有価証券売却収入除きでは営業CFの改善により大幅改善

単位：億円

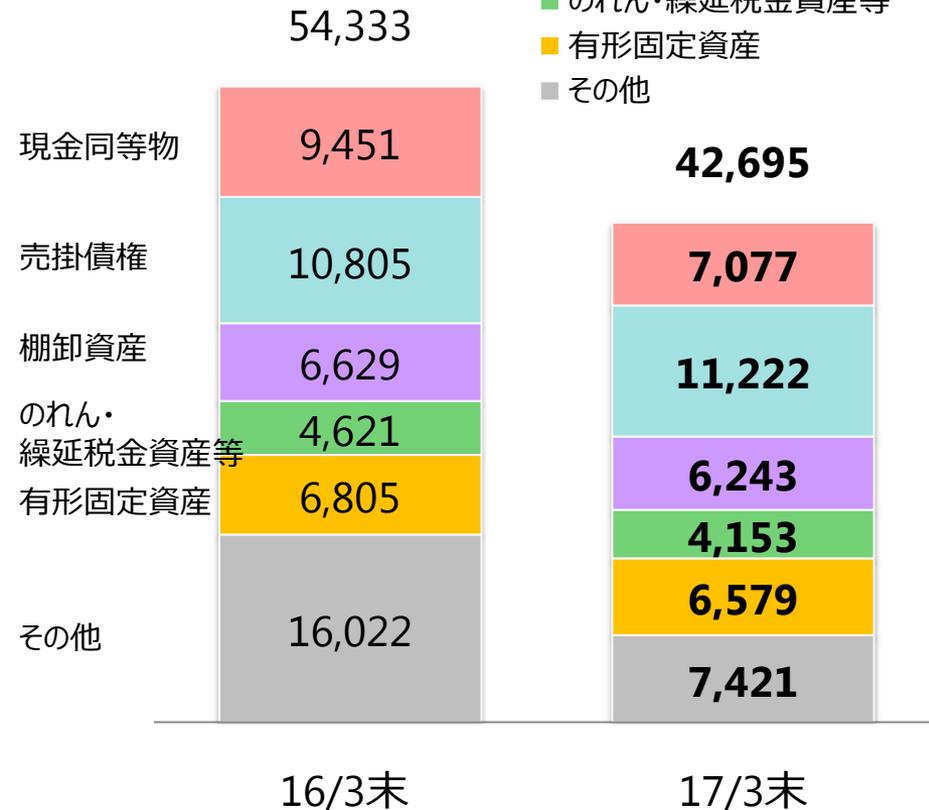


貸借対照表

WECグループの連結除外により資産減少

資産

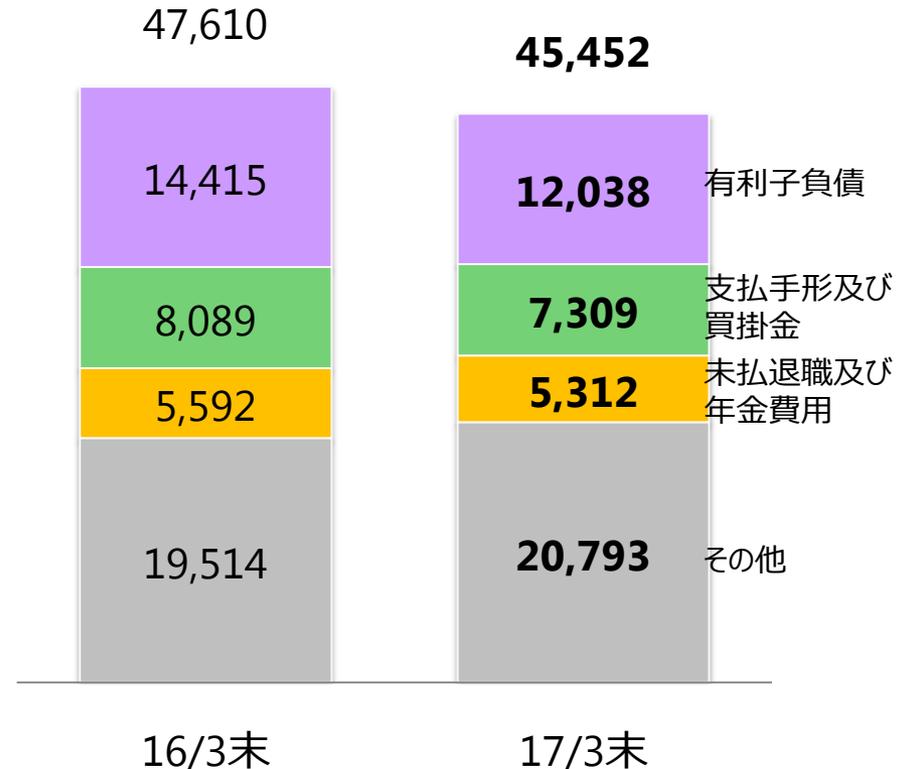
- 現金同等物
- 売掛債権
- 棚卸資産
- のれん・繰延税金資産等
- 有形固定資産
- その他



負債

単位：億円

- 有利子負債
- 支払手形及び買掛金
- 未払退職及び年金費用
- その他



のれん及び固定資産の状況

ランディス・ギア社は年次減損テスト(STEP 1)にて減損の兆候無し

単位：億円

(主要な残高)	17/3末 残高		固定資産等		のれん	
		対16/3末		対16/3末		対16/3末
原子力事業	178	▲ 9	178	▲ 9	0	0
ランディス・ギア社	2,329	▲ 80	736	▲ 74	1,593	▲ 6
送変電・配電・太陽光	188	24	188	24	0	0
照明事業	65	▲ 5	65	▲ 5	0	0
メモリ	2,422	205	2,422	205	0	0
ディスクリート	115	21	115	21	0	0
システムLSI	99	28	99	28	0	0
ストレージプロダクツ	70	▲ 36	70	▲ 36	0	0
全社合計	10,584	▲ 490	8,310	▲ 269	2,274	▲ 221

※ランディス・ギア社はIPOの準備に際し、事業区分を1セグメントから3セグメントに細分化したことにより、16年度の単独での年次減損テストにおいて60億円の減損を計上しているが、当社連結決算では減損の兆候は無い
(なお、ランディス・ギア社は7/21にIPOを実施しており、2Qで当社の子会社から外れる予定)



2. セグメント別業績

セグメント別

		15年度	16年度	差	(伸長率)	対6/23時点 見通し	単位：億円
エネルギーシステム ソリューション	売上高	10,613	9,749	▲864	(▲8%)	0	
	営業損益	▲1,208	▲417	791		0	
	ROS	▲11.4%	▲4.3%	7.1%			
インフラシステム ソリューション	売上高	13,529	12,624	▲905	(▲7%)	0	
	営業損益	▲74	584	658		0	
	ROS	▲0.5%	4.6%	5.1%			
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	5,449	5,077	▲372	(▲7%)	0	
	営業損益	▲847	163	1,010		0	
	ROS	▲15.5%	3.2%	18.7%			
ストレージ&デバイス ソリューション	売上高	15,759	17,002	1,243	(+8%)	0	
	営業損益	▲1,000	2,470	3,470		0	
	ROS	▲6.3%	14.5%	20.8%			
インダストリアルICT ソリューション	売上高	2,568	2,384	▲184	(▲7%)	0	
	営業損益	87	116	29		0	
	ROS	3.4%	4.9%	1.5%			
その他	売上高	7,960	5,301	▲2,659	(▲33%)	0	
	営業損益	▲1,820	▲217	1,603		0	
消去	売上高	▲4,330	▲3,429	901		0	
	営業損益	32	9	▲23		0	
合計	売上高	51,548	48,708	▲2,840	(▲6%)	0	
	営業損益	▲4,830	2,708	7,538		0	
	ROS	▲9.4%	5.6%	15.0%			

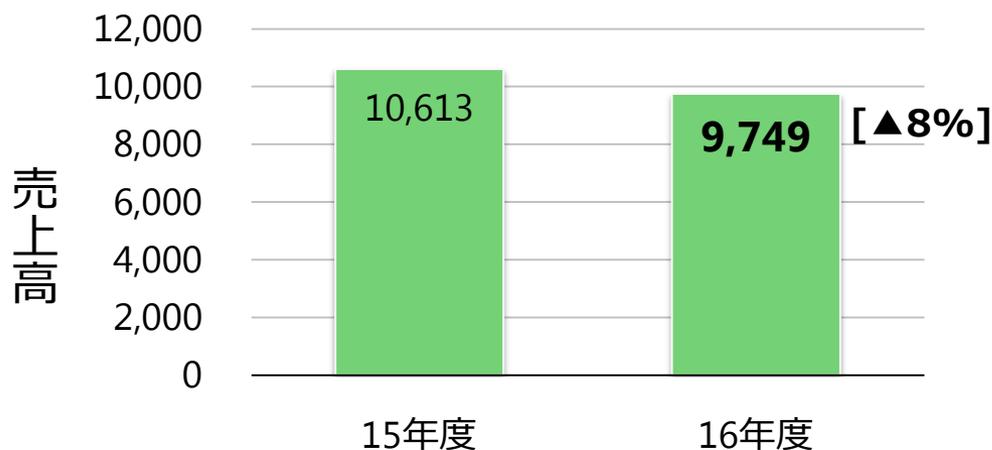
エネルギーシステムソリューション 主要事業内訳

単位：億円

		15年度	16年度	差	(伸長率)	
エネルギーシステム ソリューション	売上高	10,613	9,749	▲864	(▲8%)	
	営業損益	▲1,208	▲417	791		
	ROS	▲11.4%	▲4.3%	7.1%		
原子力	売上高	2,151	1,821	▲330	(▲15%)	売上高は受注規模縮小により減収。営業損益はNuGen社ののれん及び固定資産の減損に伴い悪化。
	営業損益	81	▲451	▲532		
	ROS	3.8%	▲24.8%	▲28.6%		
火力・水力	売上高	3,342	3,391	49	(+1%)	売上高は前年度比ほぼ同程度。営業損益は採算性改善（15年度は引当等の特殊要因もあり）。
	営業損益	▲249	39	288		
	ROS	▲7.5%	1.2%	8.7%		
送変電・配電等	売上高	3,313	2,977	▲336	(▲10%)	太陽光発電の市況悪化により減収。構造改革、固定費削減等により黒字化を達成。
	営業損益	▲1,016	27	1,043		
	ROS	▲30.7%	0.9%	31.6%		
ランディス・ギア (連結)	売上高	1,900	1,812	▲88	(▲5%)	為替影響により減収したが、増益。
	営業損益	53	74	21		
	ROS	2.8%	4.1%	1.3%		

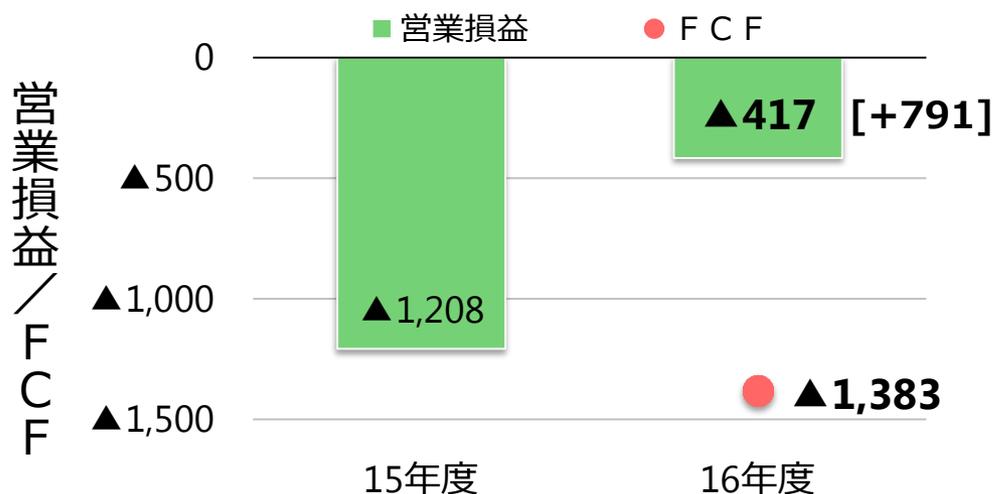
エネルギーシステムソリューション

単位：億円
[対15年度]



為替影響
▲503

- 火力・水力が増収。
- 原子力、送変電・配電等とランディス・ギアが減収。



為替影響
+40
緊急対策
+86

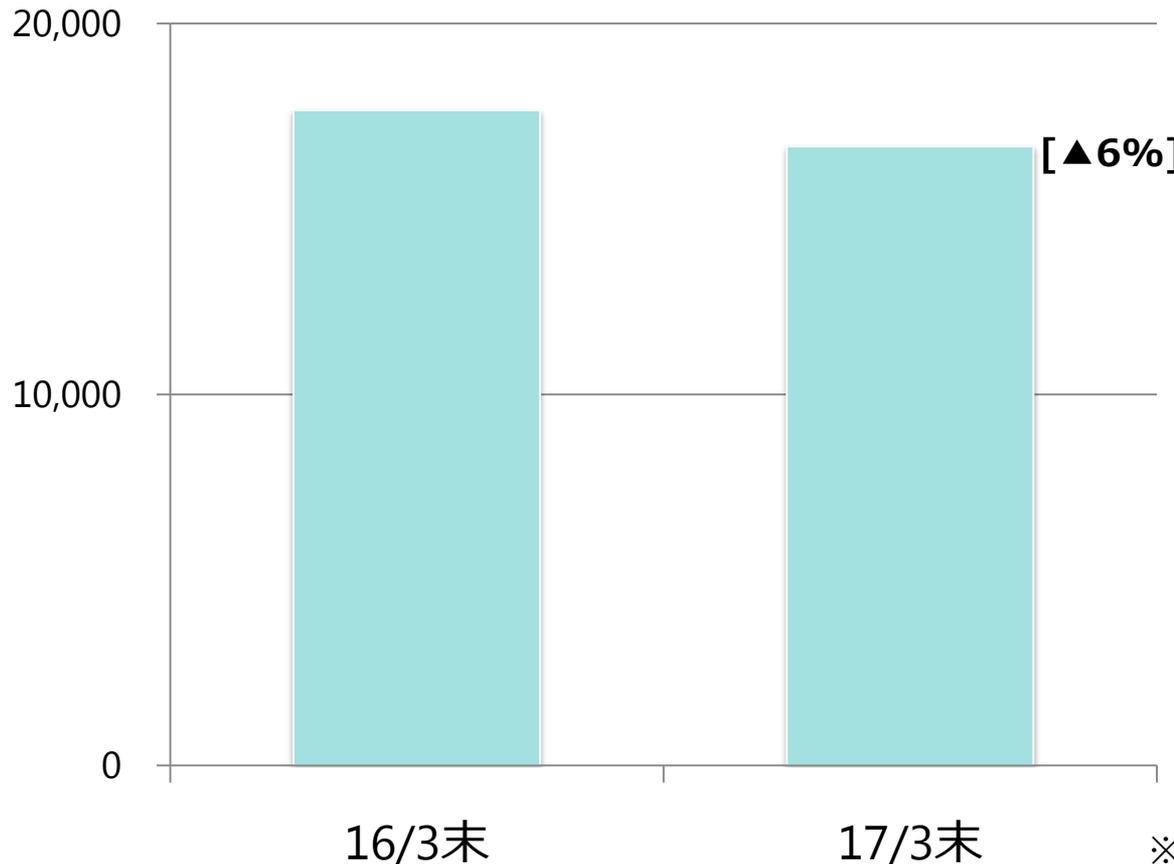
- 原子力が大幅に悪化。
- 火力・水力、送変電・配電等、ランディス・ギアが増益・改善。

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

エネルギーシステムソリューション 受注残高推移

単位：億円
[対16/3末]

※発電システムおよび送変電・配電システム
(太陽光発電、ランディス・ギアを除く)



- 原子力は、再稼働対応等を中心に受注し、残高は微減。
- 火力・水力は、為替影響を主因として残高は減少。
- 送変電・配電等は、海外案件の受注減により残高は減少。

※ ウェスチングハウス社グループの数値は過去に遡って除外しています

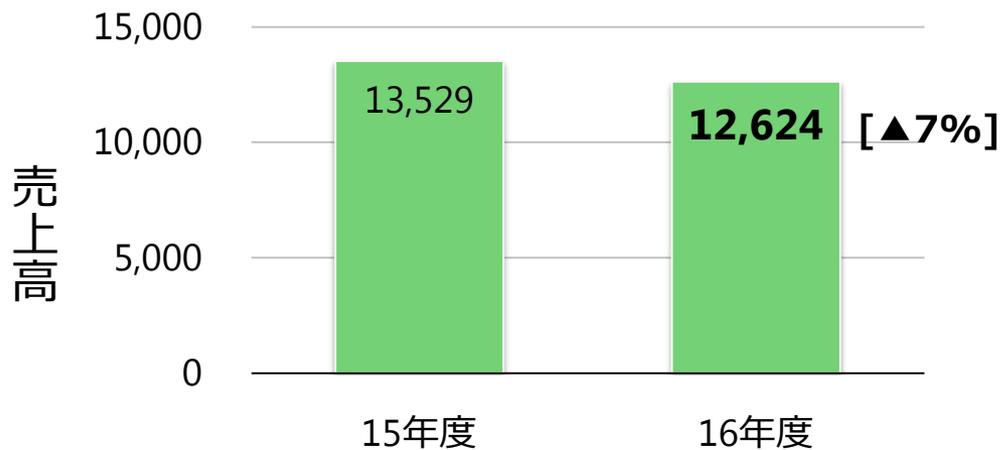
インフラシステムソリューション 主要事業内訳

単位：億円

		15年度	16年度	差	(伸長率)	
インフラシステム ソリューション	売上高	13,529	12,624	▲905	(▲7%)	
	営業損益	▲74	584	658		
	ROS	▲0.5%	4.6%	5.1%		
公共インフラ	売上高	3,746	3,656	▲90	(▲2%)	受注物件の減少により減収。営業損益は緊急対策と粗利率向上により増益。
	営業損益	103	245	142		
	ROS	2.7%	6.7%	4.0%		
ビル・施設	売上高	6,868	6,269	▲599	(▲9%)	為替影響および受注物件の減少により減収。営業損益は緊急対策と粗利率向上により増益。
	営業損益	▲27	296	323		
	ROS	▲0.4%	4.7%	5.1%		
産業システム	売上高	3,437	3,099	▲338	(▲10%)	為替影響および受注物件の減少により減収。営業損益は緊急対策等により改善。
	営業損益	▲150	43	193		
	ROS	▲4.4%	1.4%	5.8%		

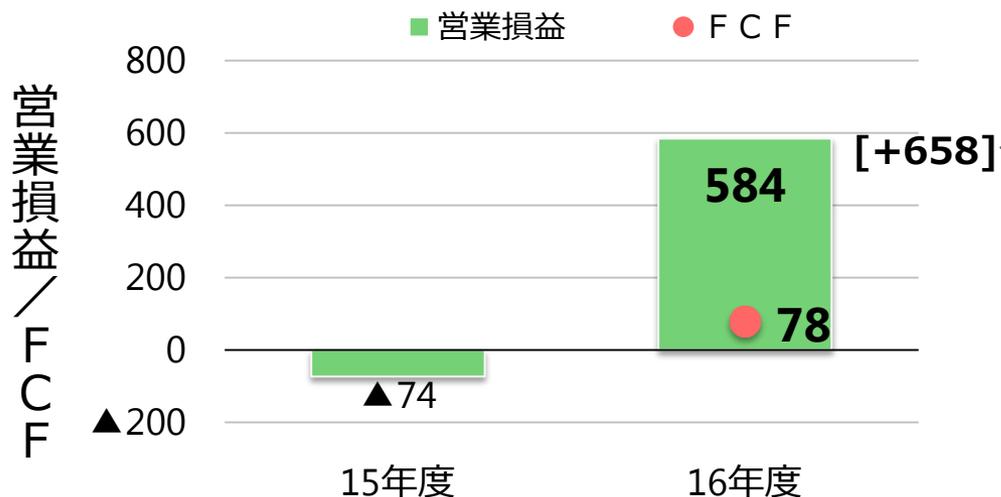
インフラシステムソリューション

単位：億円
[対15年度]



為替影響
▲393

- 各事業とも減収。



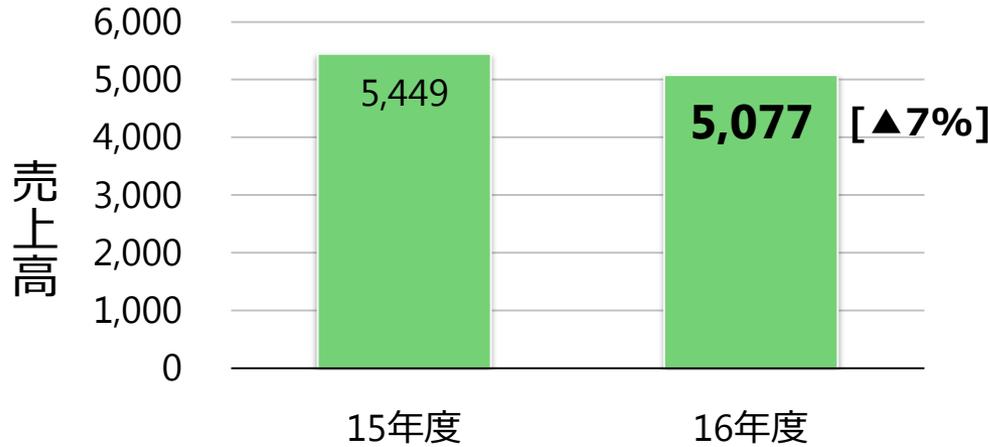
為替影響 ▲44
緊急対策 +141

- 各事業とも増益・改善。

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

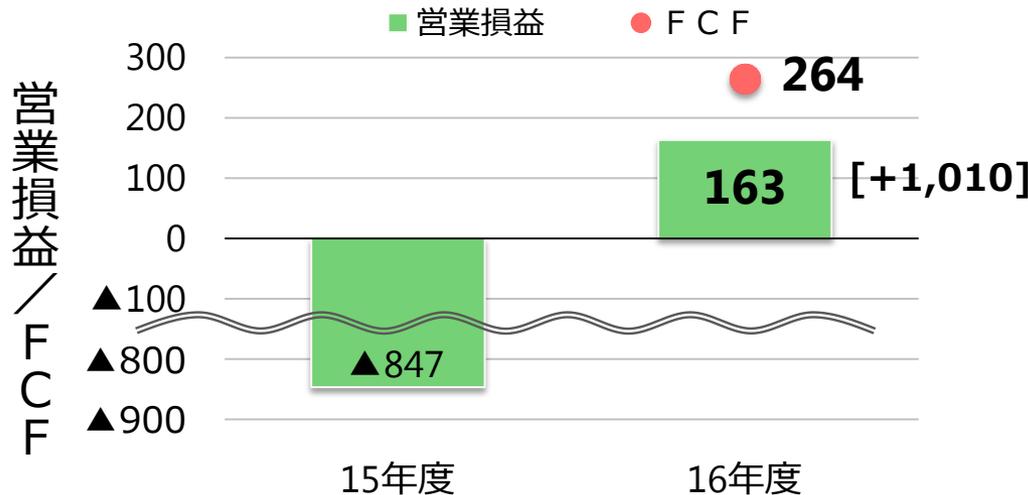
リテール&プリンティングソリューション

単位：億円
[対15年度]



為替影響
▲359

- リテール事業は好調に推移したが、為替の影響により減収。



為替影響
▲35
緊急対策
▲2

- リテール事業の収益改善により黒字化（前年度には海外リテール事業の減損を含む）。

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

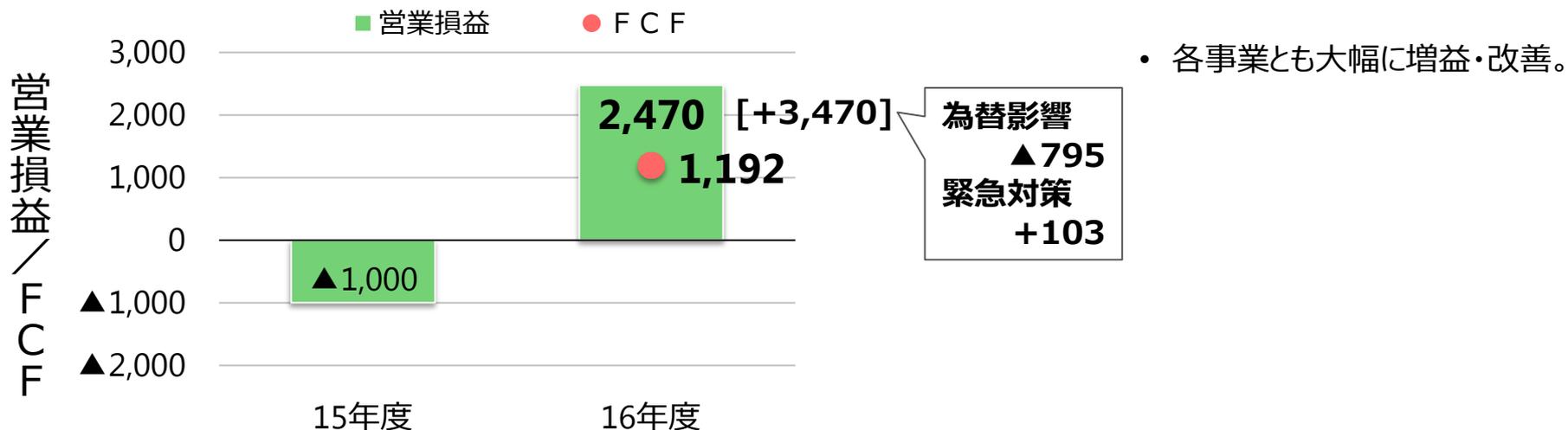
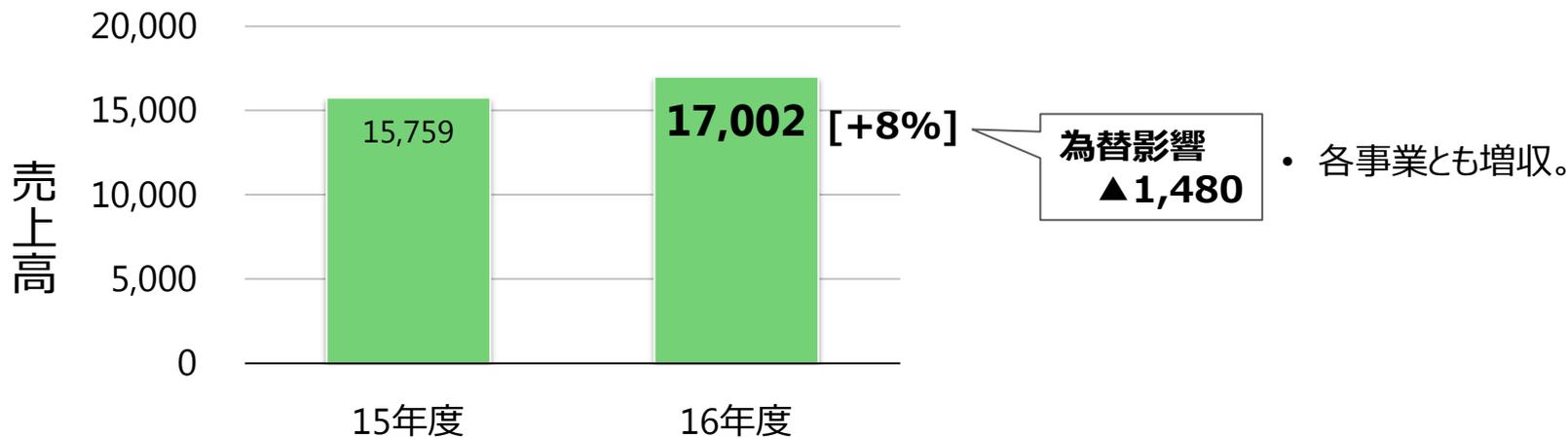
ストレージ&デバイスソリューション 主要事業内訳

単位：億円

		15年度	16年度	差	(伸長率)		
ストレージ&デバイス ソリューション		売上高	15,759	17,002	1,243	(+8%)	
		営業損益	▲1,000	2,470	3,470		
		ROS	▲6.3%	14.5%	20.8%		
ストレージ	メモリ	売上高	8,456	8,972	516	(+6%)	旺盛なスマホやSSD需要により売価は安定的に推移、売上高・損益ともに対前年、上振れ。 PC・ゲーム向けでのシェア増に加え、エンタープライズ用が伸長し増収。損益も物量増などにより黒字転換。
		営業損益	1,100	1,866	766		
		ROS	13.0%	20.8%	7.8%		
	HDD	売上高	3,856	4,613	757	(+20%)	
		営業損益	▲402	360	762		
		ROS	▲10.4%	7.8%	18.2%		
デバイス他		売上高	3,447	3,417	▲30	(▲1%)	事業撤退等の影響により売上高横ばいながら、注力分野の強化や事業構造改革により黒字転換。
		営業損益	▲1,698	244	1,942		
		ROS	▲49.3%	7.1%	56.4%		

ストレージ&デバイスソリューション

単位：億円
[対15年度]

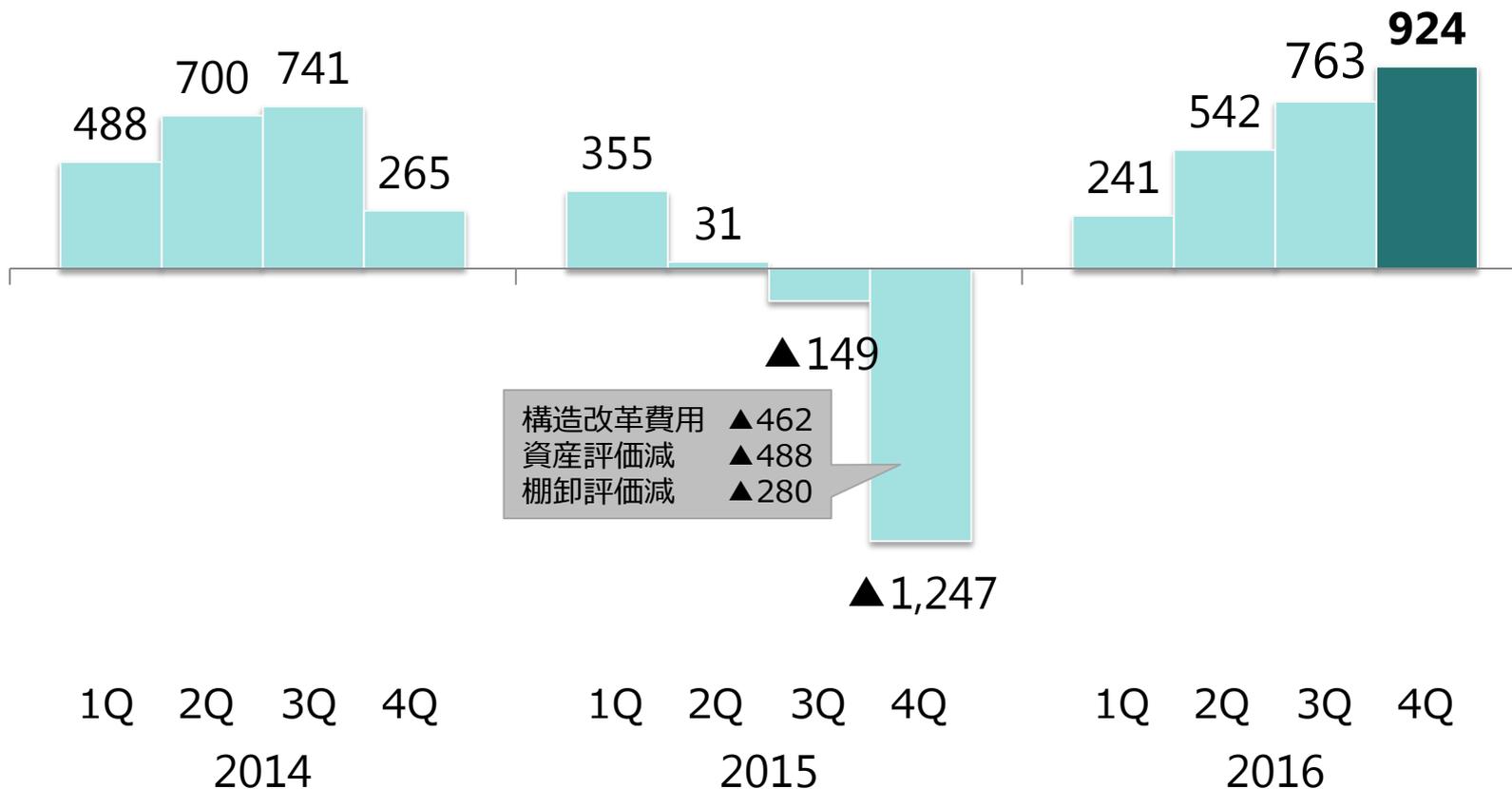


※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

ストレージ&デバイスソリューション 四半期別営業損益トレンド

対16/3Q：メモリとHDDを中心に好調を維持し、引き続き増益

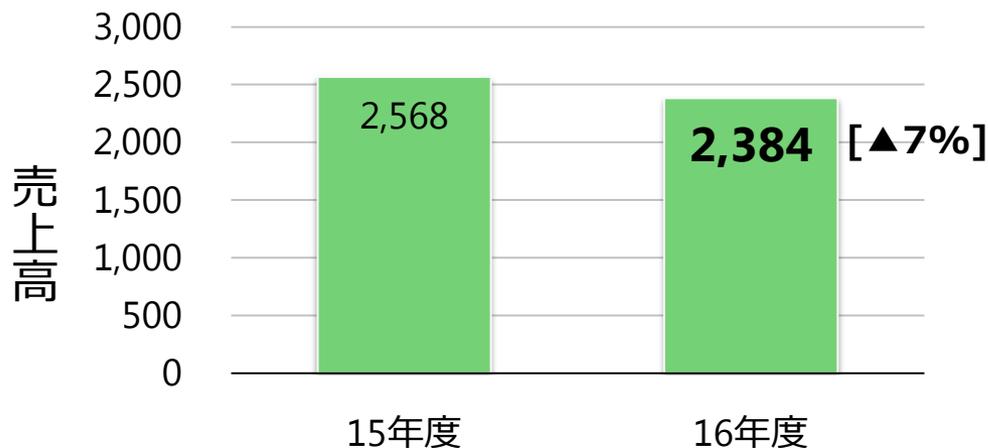
単位：億円



※14年度、15年度については、(旧) セミコンダクター&ストレージ社の数値を表示しており、かつセグメント別営業損益の算定方法変更前の数値で表示しています。

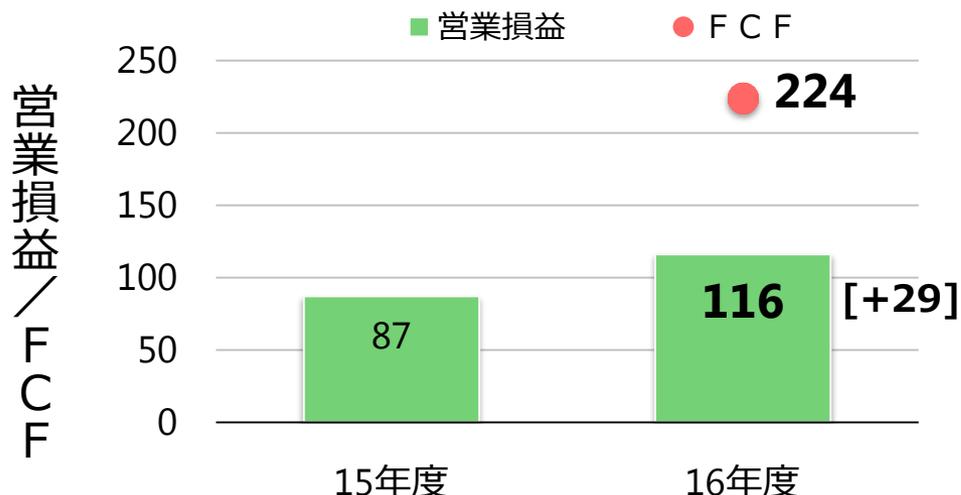
インダストリアルICTソリューション

単位：億円
[対15年度]



為替影響
±0

- 製造業向けシステム案件が減収。



為替影響
±0
緊急対策
+58

- 緊急対策と収益改善施策により増益。

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

その他

単位：億円

		15年度	16年度	差	(伸長率)	
PC	売上高	4,437	1,918	▲2,519	(▲57%)	海外B2C事業撤退により売上高は大幅縮小。一方、営業利益は大幅改善し構造改革費用を除き34億円と黒字化達成。
	営業損益	▲868	▲5	863		
	ROS	▲19.6%	▲0.3%	19.3%		
映像	売上高	947	616	▲331	(▲35%)	海外ブランドライセンス化に伴い売上高は減少。16下は特殊要因除く営業利益は黒字化するなど通期で改善。
	営業損益	▲486	▲129	357		
	ROS	▲51.3%	▲20.9%	30.4%		



Appendix

退職給付債務の割引率について

退職給付債務の国内の割引率は0.7%

- 2016年及び2017年の3月31日現在における退職給付債務算定に使用した割引率の加重平均値は以下のとおり

	2016年 3月31日現在	2017年 3月31日現在
割引率	1.1%	0.7%

	2015年	2016年
国内加重平均割引率 :	0.6%	0.7%
海外加重平均割引率 :	3.5%	2.1%
全体加重平均割引率 :	1.1%	0.7%

※2016年3月31日現在の数値には非継続事業となったウェスチングハウス社グループ、ヘルスケア事業および家庭電器事業の影響額が含まれています。

WEC関連損失額 内訳

単位：億円

	連結 (米国会計基準)		単独 (日本会計基準)
のれん減損	▲7,316	貸倒引当金	▲1,233
固定資産減損	▲1,142	親会社保証引当金	▲6,877
貸倒引当金	▲2,421	株式評価損	▲4,434
親会社保証引当金	▲6,877	TNEH(US) ※2	▲2,509
連結除外益	※1 4,620	TNEH(UK) ※3	▲878
その他	▲806	LC COLLATERAL SPV ※4	▲583
		その他	▲464
非継続事業税引前当期純損失	▲13,942	その他	▲438
		海外原子力事業撤退損失	▲12,982

※1 投資勘定減損控除後

※2 ウェスチングハウス社およびその米国関係会社の持株会社である東芝原子力エネルギーホールディングス（米国）社

※3 ウェスチングハウス社グループの米国外の事業会社群の持株会社である東芝原子力エネルギーホールディングス（英国）社

※4 ウェスチングハウス社グループのための金融機関に対する担保提供を行うことを目的として設立した米国法人

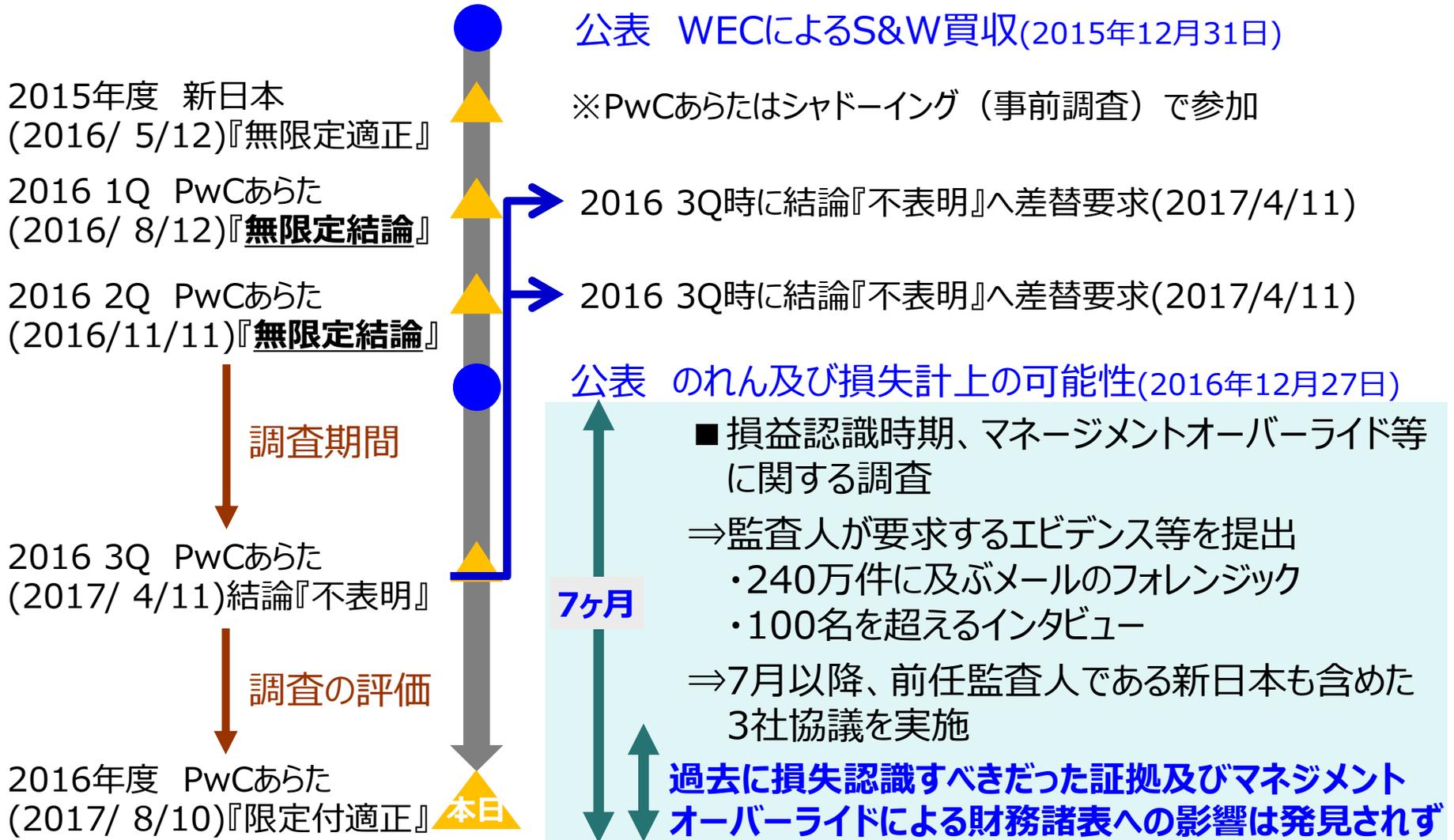


監査報告書に対する当社の見解

WEC調査対応

▲ 決算と監査/四半期レビュー

● 公表と調査対応他



当社と独立監査人との見解の相違点

～15年12月31日(買収前)

(買収後)～16年3月31日

～16年5月12日

S&W買収

2015年度決算発表

ASC805に基づく
暫定的な見積り

新日本監査法人『無限
定適正意見』を表明

・当時入手可能な全ての情報
から、新PJとして再起動すると
言う前提で、“利用すべき情
報を判断”して算出

PwCあらた監査法人の
見解は“利用すべき情
報の判断”に意見の相
違

CB&I(S&W)による建設工事

←PJ体制
の再編

- ・工事コストに係わる係争懸念
- ・作業効率の悪化懸念
- ・工事長期化によるLD等懸念

などの旧PJ情報

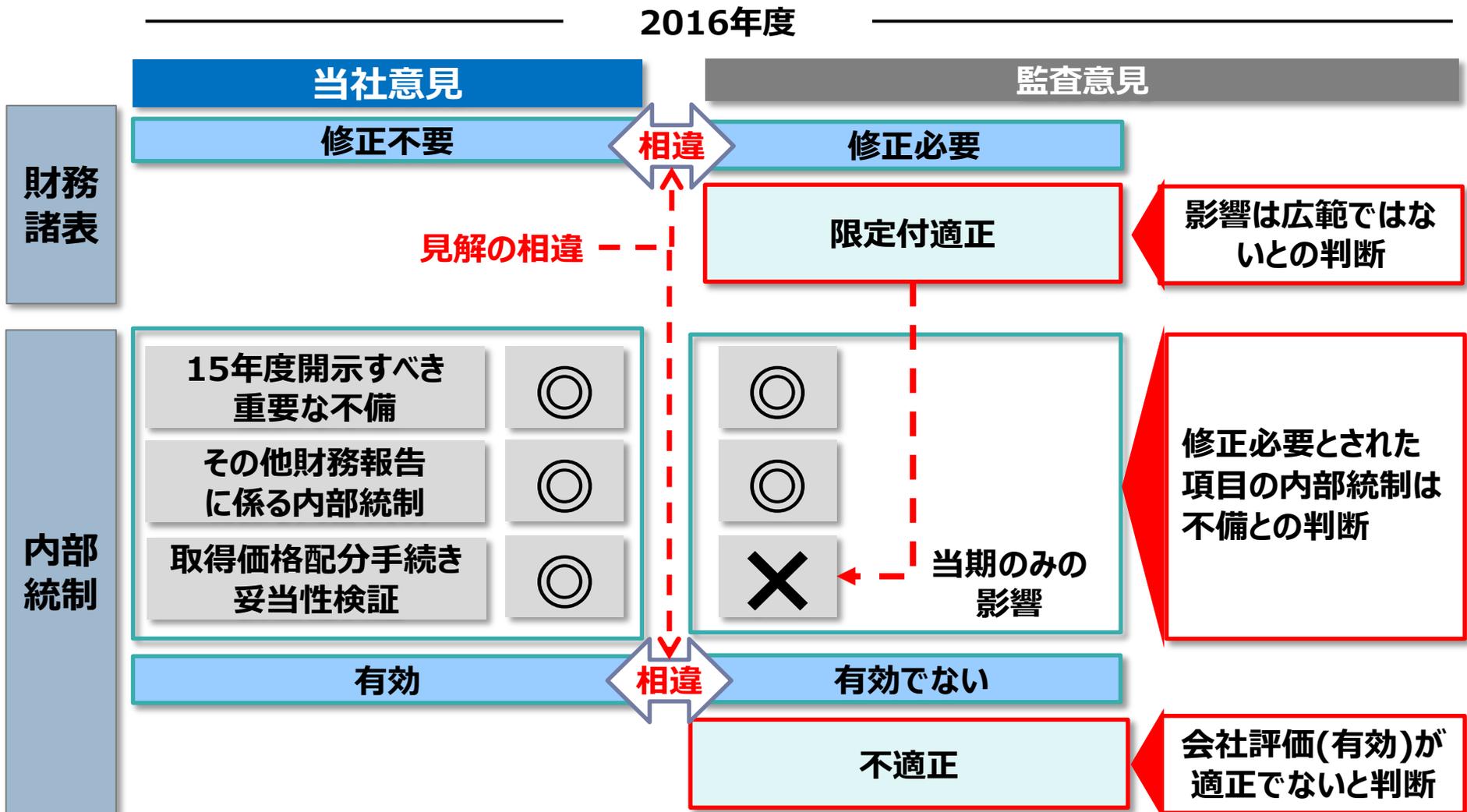
買収を契機に『**新しいPJとして再スタート**』

- ・新しい工事業者への切替による効率アップ期待
- ・売価アップ
- ・納期延長
- ・新しい工事業者による“ゼロ”からの再見積(10月)

などのPJ正常化情報

内部統制の監査意見について

当期に不備とされた項目は、連結除外により本年度以降影響なし



TOSHIBA

Leading Innovation >>>

2017年度 第1四半期決算

2017年8月10日

株式会社 **東芝**

代表執行役専務

平田 政善

注意事項

- この資料には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
- 当社グループはグローバル企業として市場環境等が異なる国や地域で広く事業活動を行っているため、実際の業績は、これに起因する多様なリスクや不確実性（経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限りません。）により、当社の予測とは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。
- 注記が無い限り、表記の数値は全て連結ベースの3ヶ月累計です。
- ウェスチングハウス社グループに係る経営成績は、米国会計基準に基づき、連結損益計算書上非継続事業として取り扱われるため、注記が無い限り、売上高、営業損益、税引前損益には含まれておらず、過年度の数値を組み替えて表示しています。



1. 全社業績

今回のポイント

● [売上高]

ストレージ&デバイスソリューションは、メモリが大幅に増収となったほか各事業で増収。またエネルギーシステムソリューションも増収となり、全体では対前年同期で増収。為替による全社の影響額は▲10億円。

➤ 売上高 1兆1,436億円 (対前年同期 +864億円)

● [損益]

営業損益については、メモリは価格が安定的に推移したことにより、35%の営業利益率を達成し、全体でも対前年同期で大幅増益となり、第1四半期としては過去最高を記録。為替による全社の影響額は▲10億円。

当期純損益については、前年同期に非継続事業損益として家庭電器事業の売却益839億円（税金控除前）を含む利益を計上していたことから、対前年同期で減益。

➤ 営業損益 967億円 (対前年同期 +804億円)
➤ 税引前損益 851億円 (対前年同期 +812億円)
➤ 当期純損益 503億円 (対前年同期 ▲295億円)

今回のポイント

- **[キャッシュ・フロー]**

フリー・キャッシュ・フローは対前年同期で858億円改善し、9億円のプラスとなった。営業損益の増益に加え、前年同期にはコネ社株式売却益に係る税金の支払等の一時的悪化影響があったこともあり、営業キャッシュ・フローが対前年同期で837億円改善したことが主因。

- **[財務体質]**

503億円の当期純利益の計上により、株主資本は▲5,043億円となった。なお、非支配持分を含んだ純資産は▲2,234億円となった。

全社

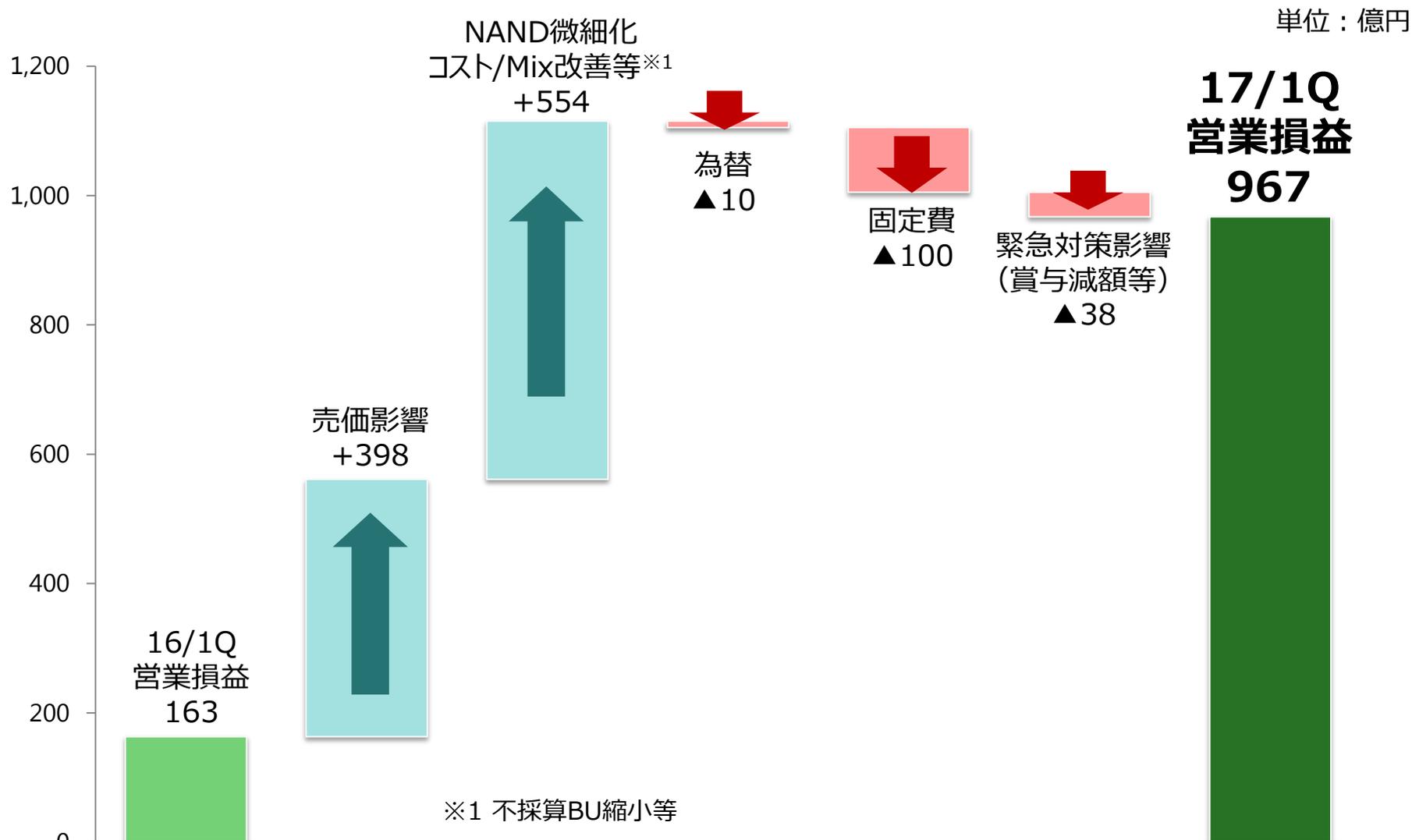
単位：億円

	16/1Q	17/1Q	差
売上高	10,572	11,436	864
営業損益	163	967	804
%	1.5%	8.5%	7.0%
税引前損益	39	851	812
%	0.4%	7.4%	7.0%
非支配持分控除前 継続事業当期純損益	40	573	533
非支配持分控除前 非継続事業当期純損益	790	-	▲790
当期純損益	798	503	▲295
%	7.5%	4.4%	▲3.1%
1株当たり 当期純損益	¥18.85	¥11.89	▲¥6.96
フリー・キャッシュ・フロー	▲849	9	858

	17/3末	17/6末	差
株主資本	▲5,529	▲5,043	486
株主資本比率	▲13.0%	▲12.0%	1.0%
純資産	▲2,757	▲2,234	523
Net有利子負債	4,961	5,864	903
Net D/E レシオ	-	-	-
期末日為替レート(米ドル)	¥112	¥112	¥0

営業損益（対前年同期分析）

売価・物量・コスト低減による効果が寄与し、対前年同期で大幅増益



営業外損益

全体としては前年同期比で若干の改善

単位：億円

	16/1Q	17/1Q	差
金融収支	▲21	▲15	6
為替差損益	▲100	13	113
固定資産売却損益	2	※1 2	0
有価証券売却損益	28	※2 1	▲27
訴訟和解費用	▲30	▲19	11
その他	▲3	※3 ▲98	▲95
合計	▲124	▲116	8

※1 軽井沢保養所跡地、青梅地区駐車場等の売却益を含む

※2 江陰新晟電子有限公司の株式売却益を含む

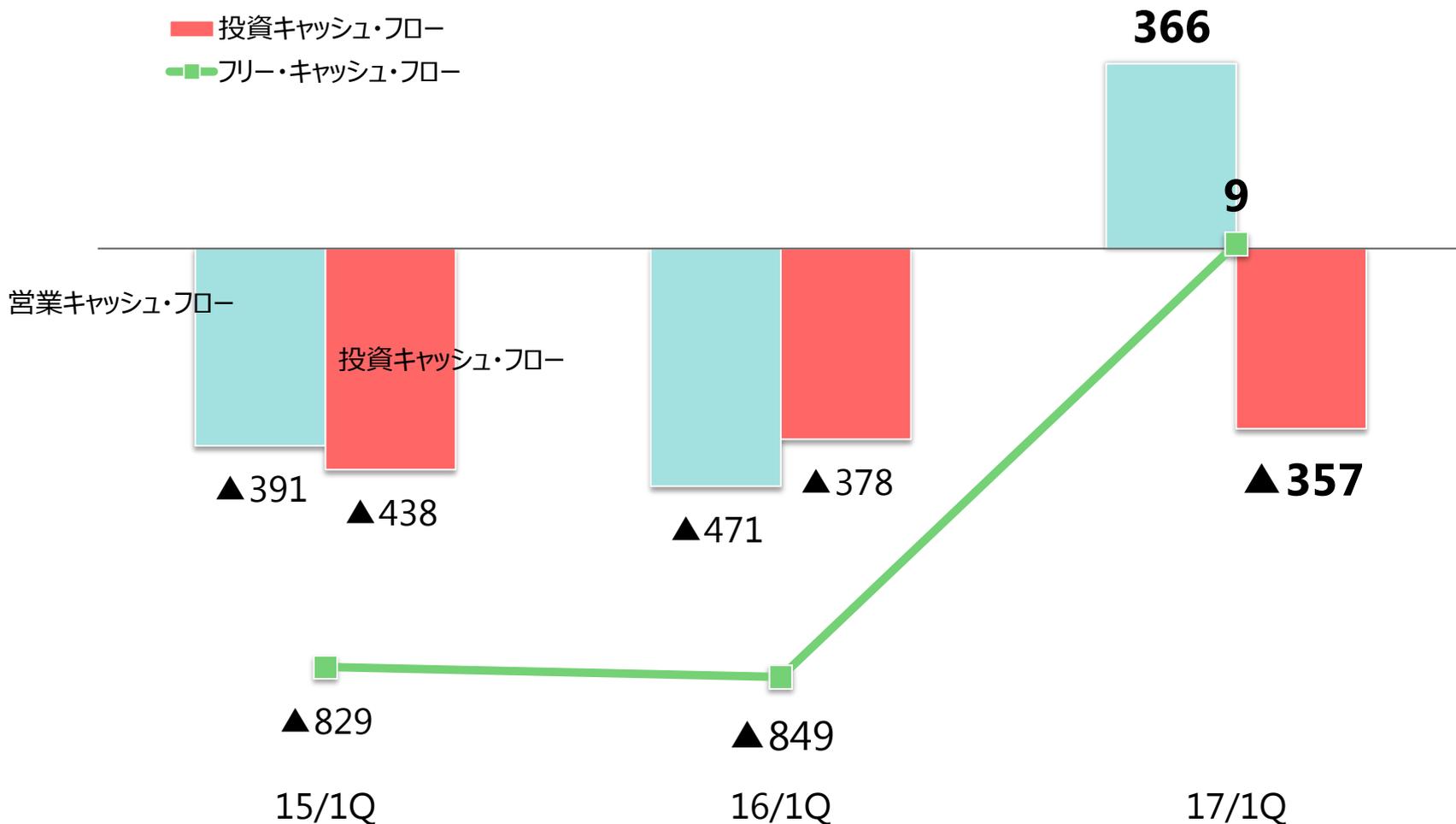
※3 ENGIE社からのNuGen社株式取得関連費用、家庭用燃料電池システムの製造・販売終了に伴う費用等を含む

フリー・キャッシュ・フロー

営業損益の増益により営業CFが大幅改善し、フリー・キャッシュ・フローが黒字化

単位：億円

- 営業キャッシュ・フロー
- 投資キャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー



貸借対照表

借入金返済及び売掛債権を中心に総資産は減少

資産

- 現金同等物
- 売掛債権
- 棚卸資産
- のれん・繰延税金資産等
- 有形固定資産
- その他

42,695

41,847

現金同等物

7,077

5,158

売掛債権

11,222

9,822

棚卸資産

6,243

6,826

のれん・
繰延税金資産等

4,153

4,009

有形固定資産

6,579

6,570

その他

7,421

9,462

17/3末

17/6末

負債

単位：億円

- 有利子負債
- 支払手形及び買掛金
- 未払退職及び年金費用
- その他

45,452

44,081

12,038

11,022

有利子負債

7,309

6,743

支払手形及び
買掛金

5,312

5,288

未払退職及び
年金費用

20,793

21,028

その他

17/3末

17/6末

のれん及び固定資産の状況

ランディス・ギア社ののれんはIPOにより2Qには除外

単位：億円

(主要な残高)	17/6末 残高		固定資産等		のれん	
		対17/3末		対17/3末		対17/3末
原子力事業	168	▲ 10	168	▲ 10	0	0
ランディス・ギア社	2,316	▲ 13	723	▲ 13	1,593	0
送変電・配電・太陽光	172	▲ 16	172	▲ 16	0	0
照明事業	65	0	65	0	0	0
メモリ	2,715	293	2,715	293	0	0
ディスクリート	139	24	139	24	0	0
システムLSI	100	1	100	1	0	0
ストレージプロダクツ	81	11	81	11	0	0
全社合計	10,522	▲ 62	8,243	▲ 67	2,279	5



2. セグメント別業績

セグメント別

単位：億円

		16/1Q	17/1Q	差	(伸長率)
エネルギーシステム ソリューション	売上高	1,992	2,186	194	(+10%)
	営業損益	▲55	▲17	38	
	ROS	▲2.8%	▲0.8%	2.0%	
インフラシステム ソリューション	売上高	2,587	2,575	▲12	(▲0%)
	営業損益	23	▲16	▲39	
	ROS	0.9%	▲0.6%	▲1.5%	
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	1,225	1,179	▲46	(▲4%)
	営業損益	18	38	20	
	ROS	1.4%	3.2%	1.8%	
ストレージ&デバイス ソリューション	売上高	3,716	4,564	848	(+23%)
	営業損益	241	1,043	802	
	ROS	6.5%	22.9%	16.4%	
インダストリアルICT ソリューション	売上高	487	562	75	(+15%)
	営業損益	▲9	▲28	▲19	
	ROS	▲1.8%	▲5.0%	▲3.2%	
その他	売上高	1,347	1,179	▲168	(▲12%)
	営業損益	▲61	▲52	9	
消去	売上高	▲782	▲809	▲27	
	営業損益	6	▲1	▲7	
合計	売上高	10,572	11,436	864	(+8%)
	営業損益	163	967	804	
	ROS	1.5%	8.5%	7.0%	

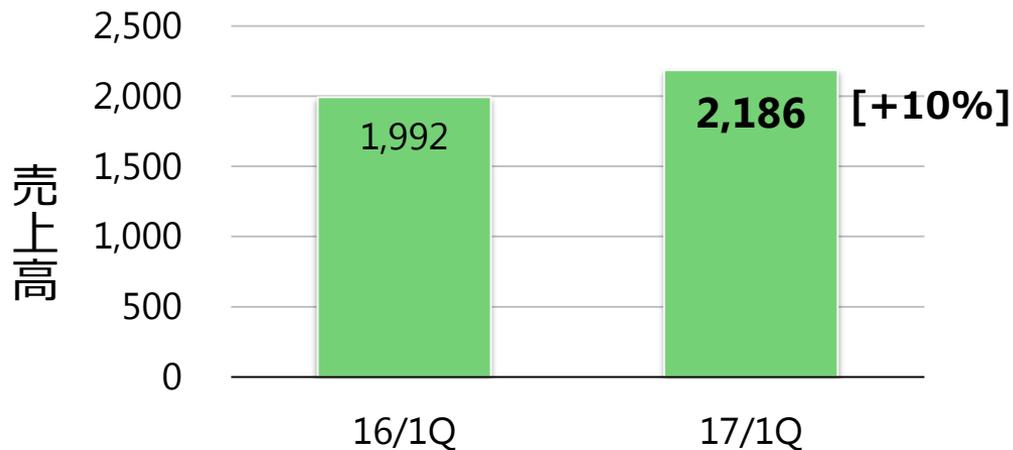
エネルギーシステムソリューション 主要事業内訳

単位：億円

		16/1Q	17/1Q	差	(伸長率)	
エネルギーシステム ソリューション	売上高	1,992	2,186	194	(+10%)	
	営業損益	▲55	▲17	38		
	ROS	▲2.8%	▲0.8%	2.0%		
原子力	売上高	203	258	55	(+27%)	再稼働対応等の工事進行基準案件における工程進捗により増収。営業利益は改善。
	営業損益	▲63	▲52	11		
	ROS	▲31.0%	▲20.2%	10.8%		
火力・水力	売上高	769	904	135	(+18%)	海外プラント案件を中心に、工事進行基準案件の工程進捗により増収、増益。
	営業損益	9	16	7		
	ROS	1.2%	1.8%	0.6%		
送変電・配電等	売上高	665	584	▲81	(▲12%)	太陽光発電の市況悪化により減収。T & D事業の海外事業改善により増益。
	営業損益	▲23	2	25		
	ROS	▲3.5%	0.3%	3.8%		
ランディス・ギア (連結)	売上高	422	483	61	(+14%)	北米・欧州を主に増収。
	営業損益	24	23	▲1		
	ROS	5.7%	4.8%	▲0.9%		

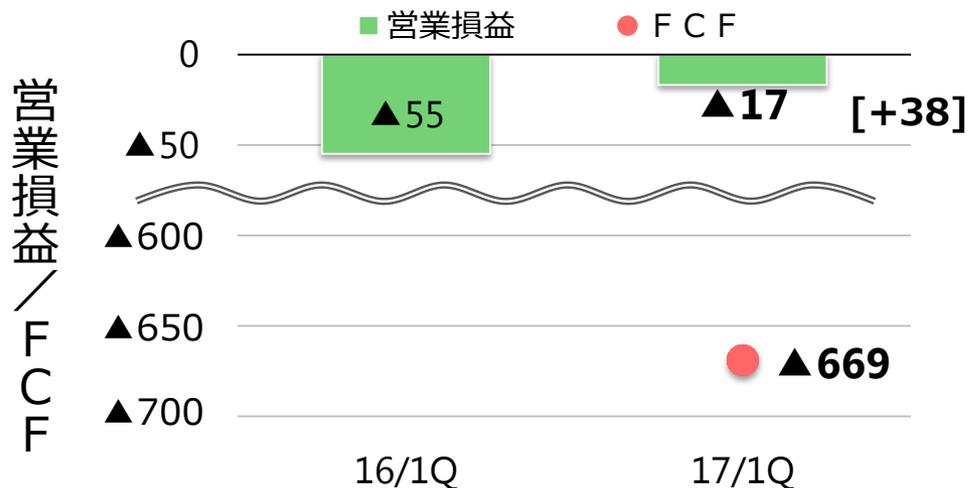
エネルギーシステムソリューション

単位：億円
[対16/1Q]



為替影響
+1

- 原子力、火力・水力、ランディス・ギアが増収。
- 送変電・配電等が減収。



為替影響
+2

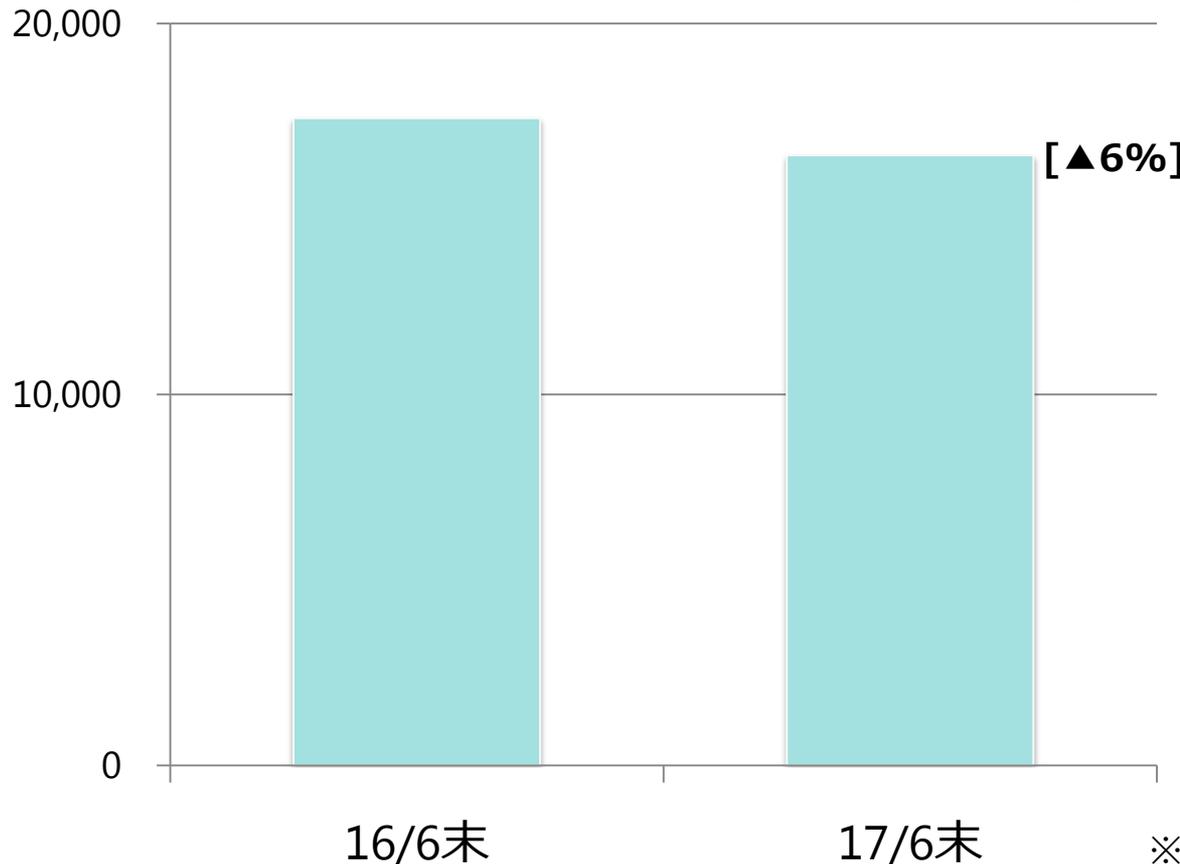
- 原子力、火力・水力、送変電・配電等が増益・改善。

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

エネルギーシステムソリューション 受注残高推移

単位：億円
[対16/6末]

※発電システムおよび送変電・配電システム
(太陽光発電、ランディス・ギアを除く)



- 原子力は、再稼働対応等を中心に受注し、残高は微減。
- 火力・水力は、大型案件の受注が2Qに集中していることから、残高は減少。
- 送変電・配電等は、中東案件の受注により残高は増加。

※ ウェスチングハウス社グループの数値は過去に遡って除外しています

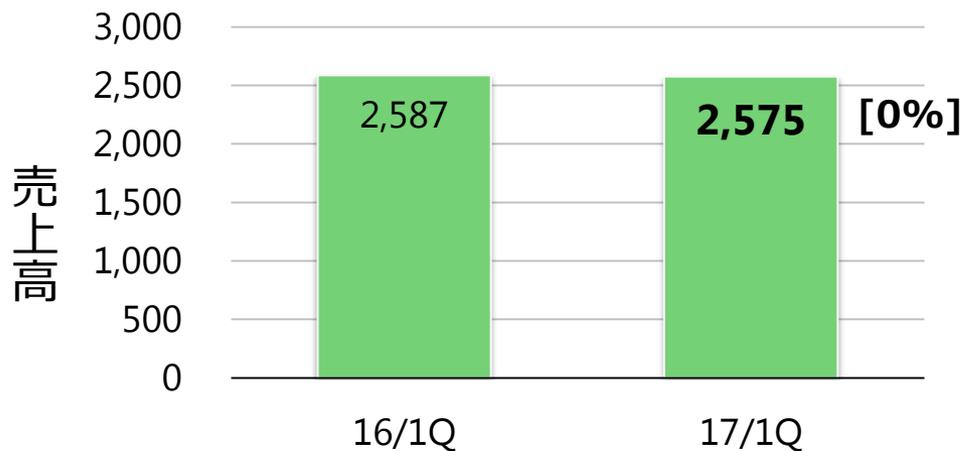
インフラシステムソリューション 主要事業内訳

単位：億円

		16/1Q	17/1Q	差	(伸長率)	
インフラシステム ソリューション	売上高	2,587	2,575	▲12	(0%)	
	営業損益	23	▲16	▲39		
	ROS	0.9%	▲0.6%	▲1.5%		
公共インフラ	売上高	667	635	▲32	(▲5%)	受注物件の減少により減収。営業損益は減収と緊急対策減少により減益。
	営業損益	▲16	▲40	▲24		
	ROS	▲2.4%	▲6.3%	▲3.9%		
ビル・施設	売上高	1,343	1,300	▲43	(▲3%)	受注物件の減少により減収。営業損益は減収と緊急対策減少により減益。
	営業損益	52	39	▲13		
	ROS	3.9%	3.0%	▲0.9%		
産業システム	売上高	680	743	63	(+9%)	産業用コンポーネントの規模増により増収。営業損益は緊急対策減少により減益。
	営業損益	▲13	▲15	▲2		
	ROS	▲1.9%	▲2.0%	▲0.1%		

インフラシステムソリューション

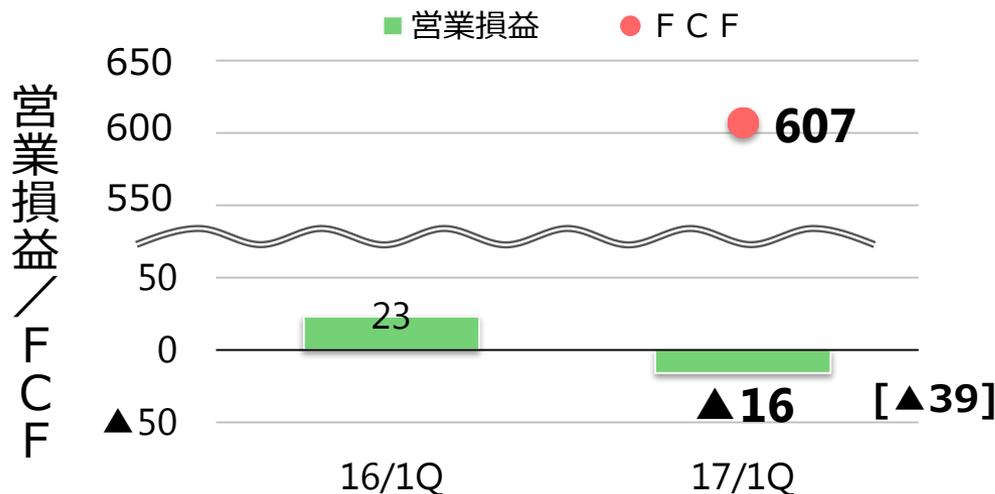
単位：億円
[対16/1Q]



為替影響

▲15

- 公共インフラ、ビル・施設が減収。
- 産業システムが増収



為替影響

▲9

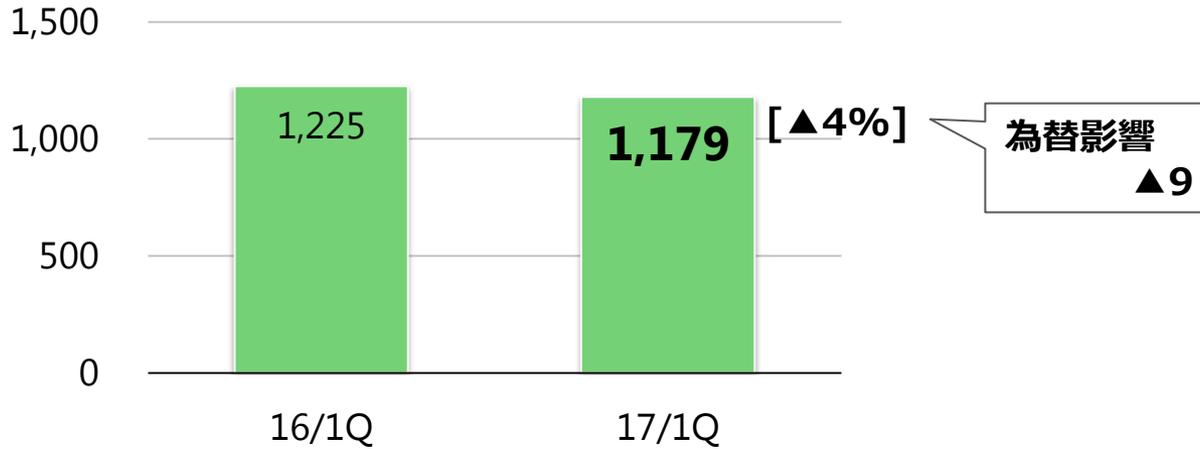
- 公共インフラ、ビル・施設が減益・悪化

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

リテール&プリンティングソリューション

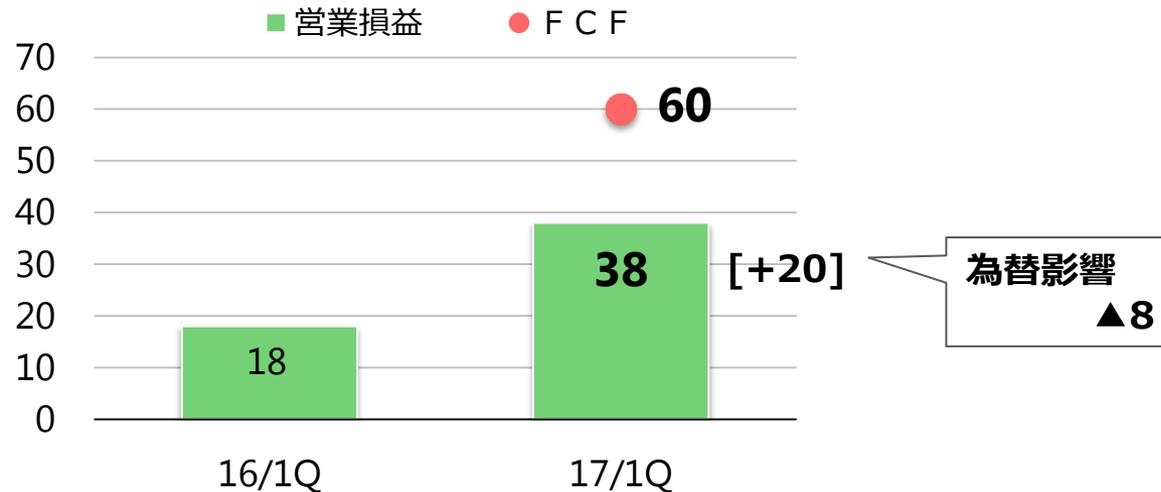
単位：億円
[対16/1Q]

売上高



- リテール事業、プリンティング事業それぞれ堅調に推移したが、リテール事業の子会社売却の影響などにより減収。

営業損益／FCF



- リテール事業、プリンティング事業それぞれ増益となり収益拡大。

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

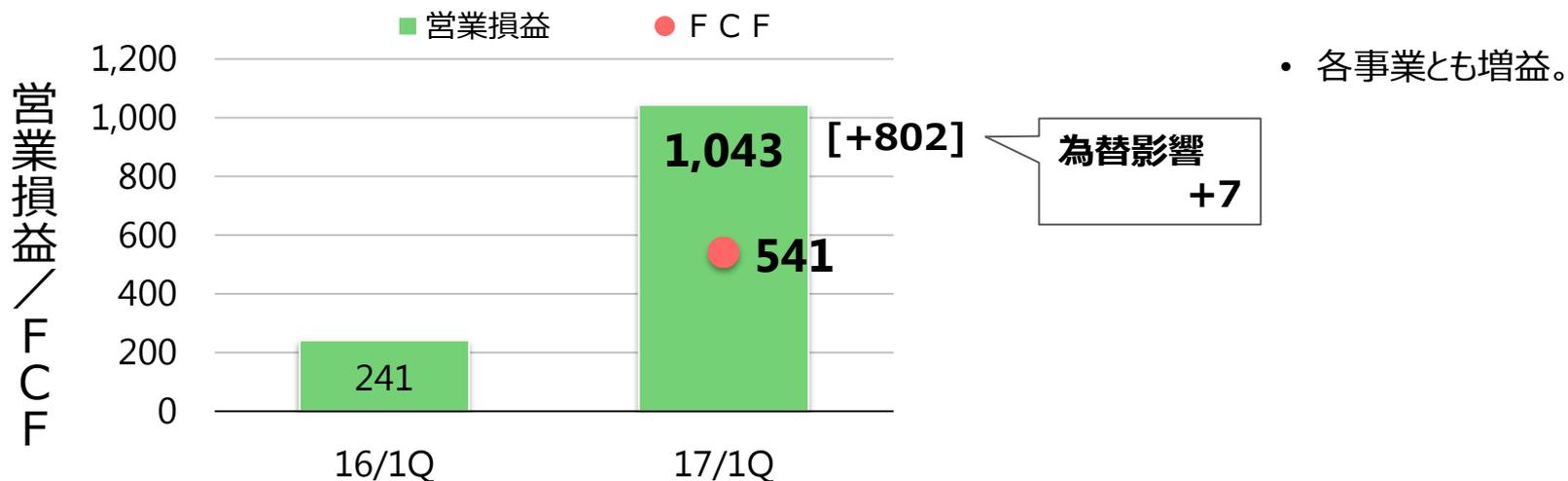
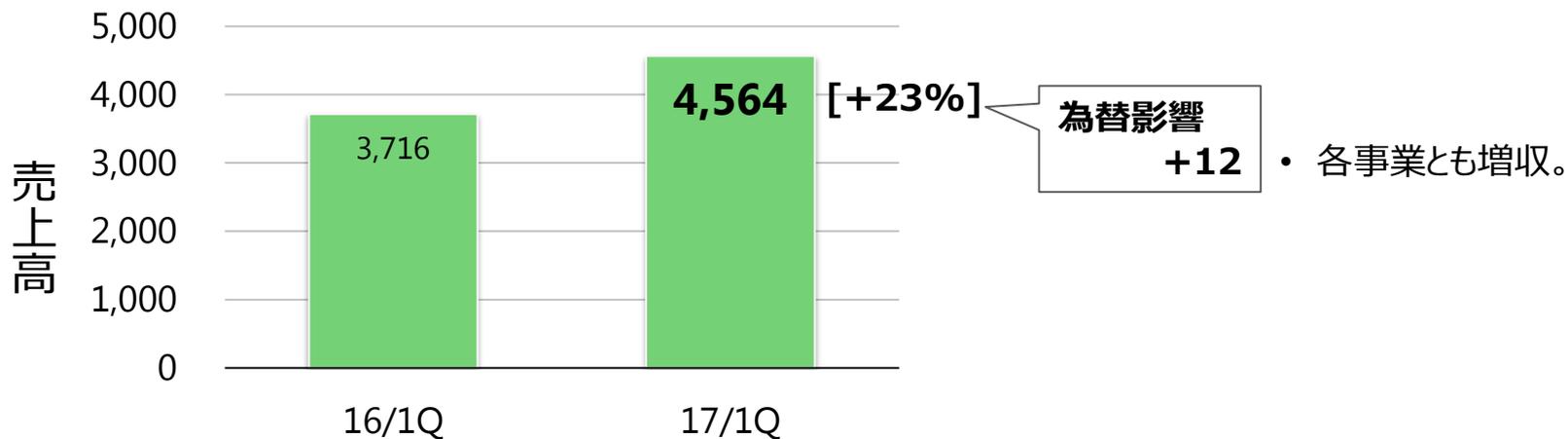
ストレージ&デバイスソリューション 主要事業内訳

単位：億円

		16/1Q	17/1Q	差	(伸長率)		
ストレージ&デバイス ソリューション		売上高	3,716	4,564	848	(+23%)	
		営業損益	241	1,043	802		
		ROS	6.5%	22.9%	16.4%		
ストレージ	メモリ	売上高	1,911	2,578	667	(+35%)	旺盛なスマホやSSD需要により売価は安定的に推移、売上高・損益ともに対前年、対計画振れ。
		営業損益	173	903	730		
		ROS	9.1%	35.0%	25.9%		
	HDD	売上高	1,033	1,068	35	(+3%)	ノートPC、企業向け市場ともに堅調、増収増益。
		営業損益	47	67	20		
		ROS	4.5%	6.3%	1.8%		
デバイス他		売上高	772	918	146	(+19%)	好調なディスクリート、システムLSIにおけるファンダリ事業の拡大などにより、増収増益。
		営業損益	21	73	52		
		ROS	2.7%	8.0%	5.3%		

ストレージ&デバイスソリューション

単位：億円
[対16/1Q]

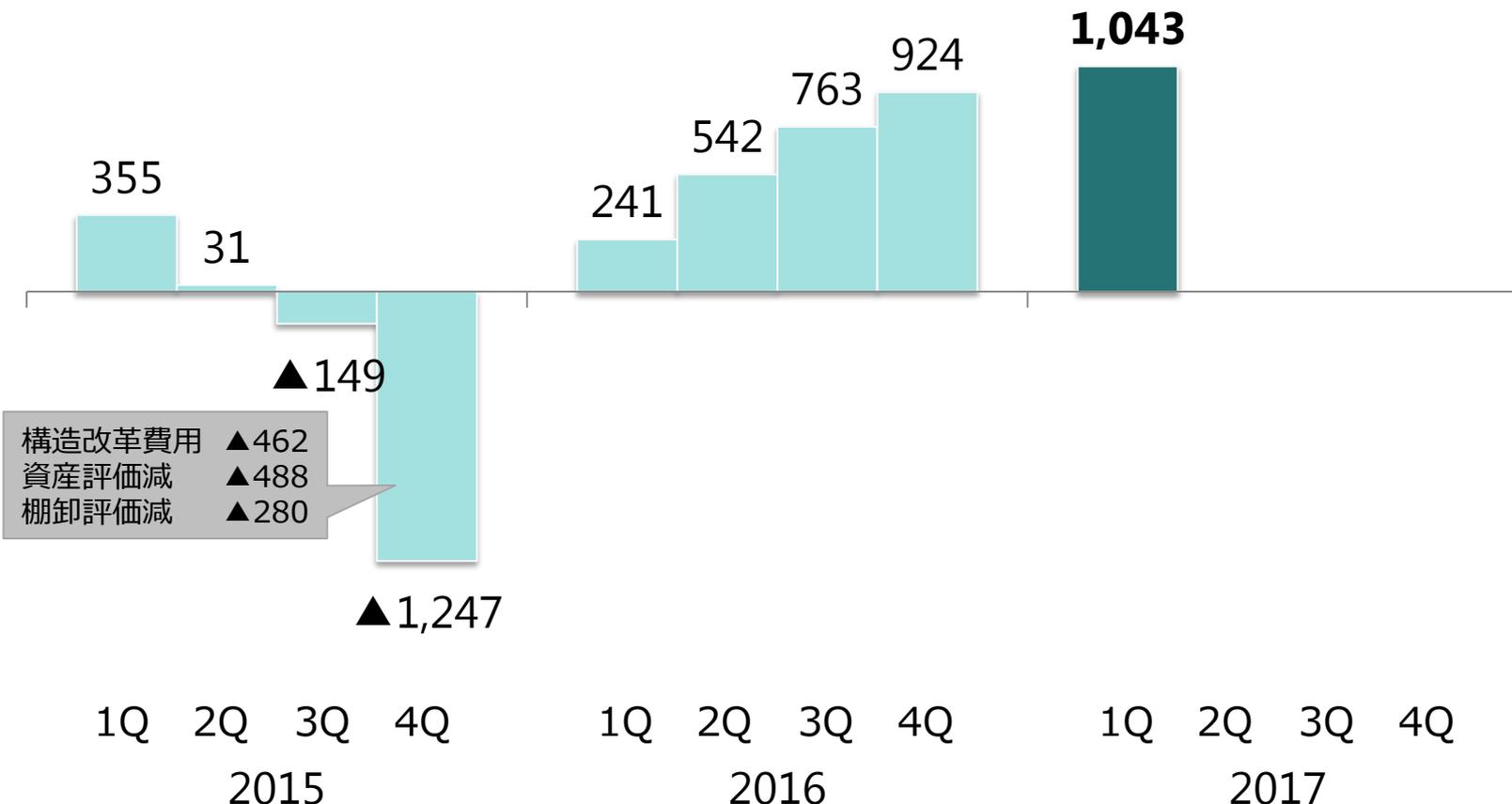


※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

ストレージ&デバイスソリューション 四半期別営業損益トレンド

対16/4Q：メモリが好調を維持し、引き続き増益

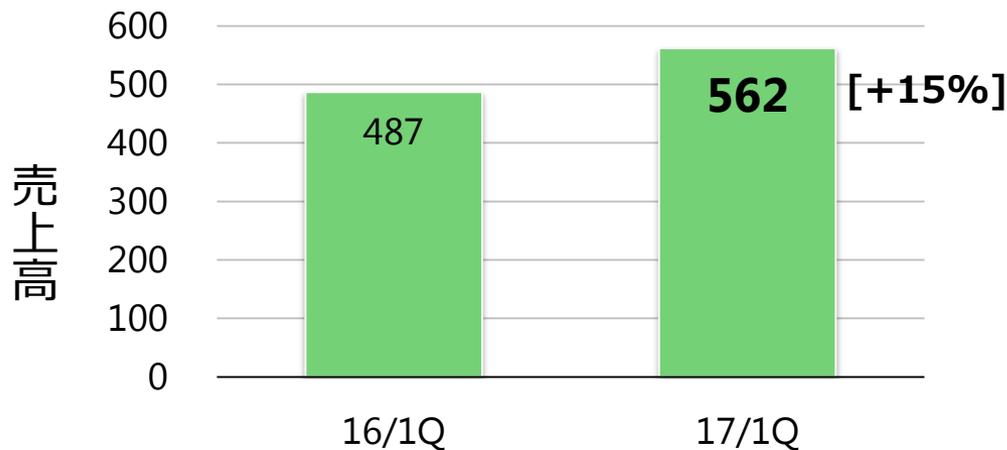
単位：億円



※15年度については、(旧) セミコンダクター & ストレージ社の数値を表示しており、かつセグメント別営業損益の算定方法変更前の数値で表示しています。

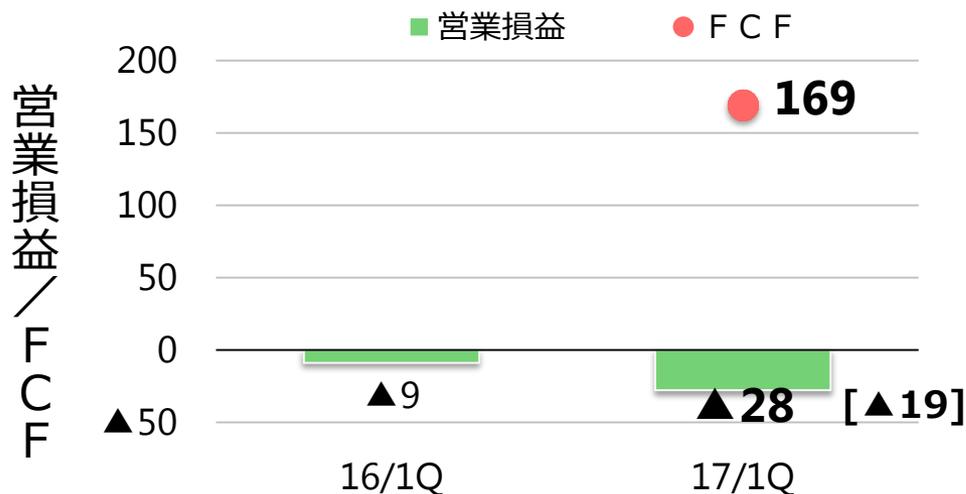
インダストリアルICTソリューション

単位：億円
[対16/1Q]



為替影響
±0

- 官公庁向けライセンスビジネス、システム案件、および民需向けシステム案件が好調により増収。



為替影響
±0

- 一部国内向け情報システム案件の影響、構内通信システム事業の構造改革により減益。

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

その他

単位：億円

		16/1Q	17/1Q	差	(伸長率)	
PC	売上高	557	433	▲124	(▲22%)	海外B2Cからの完全撤退や欧米B2B販売低迷等により減収。また減収に加え、SSDなど一部部材コストの上昇もあり損益悪化。
	営業損益	2	▲16	▲18		
	ROS	0.4%	▲3.7%	▲4.1%		
映像	売上高	155	109	▲46	(▲30%)	国内B2Cの規模減と関係会社非連結化影響等で減収。営業損益は国内B2C減収影響等により減益。
	営業損益	▲11	▲29	▲18		
	ROS	▲7.1%	▲26.6%	▲19.5%		



3. 2017年度業績予想

全社

メモリ事業への外部資本導入影響 反映前 ランディス・ギア社IPO影響 反映後

- メモリが好調で、今年度については今後も一定の利益率を確保できる見通しであること、また他の事業についても、大きなリスクは想定していないことから、5/15公表から上方修正

単位：億円

	16年度 実績	業績予想		対前年 (17年度)	対5/15公表	
		17/上期	17年度		17/上期	17年度
売上高	48,708	23,800	49,700	992	2,600	2,700
営業損益	2,708	2,100	4,300	1,592	1,500	2,300
営業損益 %	5.6%	8.8%	8.7%	3.1%	6.0%	4.4%
税引前損益	2,255	2,300	4,000	1,745	2,100	2,900
税引前損益 %	4.6%	9.7%	8.0%	3.4%	8.8%	5.7%
非支配持分控除前 継続事業当期純損益	1,199					
非支配持分控除前 非継続事業当期純損益	▲12,801					
当期純損益	▲9,657	1,400	2,300	11,957	1,300	1,800
当期純損益 %	▲19.8%	5.9%	4.6%	24.4%	5.4%	3.5%
1株当たり 当期純損益	▲¥228.08	¥33.07	¥54.33	¥282.41	¥30.71	¥42.52
フリー・キャッシュ・フロー	▲448	▲300	▲3,800	▲3,352	2,900	2,900

	17/3末 実績	17/9末 見通し	18/3末 見通し	対前年 (18/3末)	対5/15公表	
					17/9末	18/3末
株主資本	▲5,529	▲4,600	▲4,100	1,429	900	1,300
株主資本比率	▲13.0%	▲11.8%	▲10.5%	2.5%	1.3%	2.4%
純資産	▲2,757	▲2,600	▲1,900	857	100	500
Net有利子負債	4,961	5,900	9,400	4,439	▲2,400	▲2,400
期末日為替レート(米ドル)	¥112	¥110	¥100	▲¥12		

セグメント別

メモリ事業への外部資本導入影響 反映前
ランディス・ギア社IPO影響 反映後

単位：億円

		16年度 実績	業績予想		対前年		対5/15公表	
			17/上	17年度	(17年度)	(伸長率)	17/上	17年度
エネルギーシステム ソリューション	売上高	9,749	4,300	9,200	▲549	(▲6%)	300	▲600
	営業損益	▲417	▲40	180	597		0	▲70
	ROS	▲4.3%	▲0.9%	2.0%	6.3%		0.1%	▲0.6%
インフラシステム ソリューション	売上高	12,624	5,400	12,500	▲124	(▲1%)	300	300
	営業損益	584	10	420	▲164		50	50
	ROS	4.6%	0.2%	3.4%	▲1.2%		1.0%	0.4%
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	5,077	2,400	5,000	▲77	(▲2%)	0	0
	営業損益	163	60	170	7		0	0
	ROS	3.2%	2.5%	3.4%	0.2%		0.0%	0.0%
ストレージ&デバイス ソリューション	売上高	17,002	9,800	19,200	2,198	(+13%)	1,700	2,700
	営業損益	2,470	2,300	4,150	1,680		1,520	2,420
	ROS	14.5%	23.5%	21.6%	7.1%		13.9%	11.1%
インダストリアルICT ソリューション	売上高	2,384	1,200	2,500	116	(+5%)	200	200
	営業損益	116	0	50	▲66		▲20	▲20
	ROS	4.9%	0.0%	2.0%	▲2.9%		▲2.0%	▲1.0%
その他	売上高	5,301	2,300	5,200	▲101	(▲2%)	▲100	▲100
	営業損益	▲217	▲210	▲220	▲3		▲30	▲30
消去	売上高	▲3,429	▲1,600	▲3,900	▲471		200	200
	営業損益	9	▲20	▲450	▲459		▲20	▲50
合計	売上高	48,708	23,800	49,700	992	(+2%)	2,600	2,700
	営業損益	2,708	2,100	4,300	1,592		1,500	2,300
	ROS	5.6%	8.8%	8.7%	3.1%		6.0%	4.4%



Appendix

2017年度上期業績予想 全社

単位：億円

			17/上
	17/1Q 実績	17/2Q 見通し	業績予想
売上高	11,436	12,364	23,800
営業損益 %	967 8.5%	1,133 9.2%	2,100 8.8%
税引前損益 %	851 7.4%	1,449 11.7%	2,300 9.7%
当期純損益 %	503 4.4%	897 7.3%	1,400 5.9%

2017年度上期業績予想 セグメント別

単位：億円

		17/1Q 実績	17/2Q 見通し	17/上 業績予想
エネルギーシステム ソリューション	売上高	2,186	2,114	4,300
	営業損益	▲17	▲23	▲40
	ROS	▲0.8%	▲1.1%	▲0.9%
インフラシステム ソリューション	売上高	2,575	2,825	5,400
	営業損益	▲16	26	10
	ROS	▲0.6%	0.9%	0.2%
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	1,179	1,221	2,400
	営業損益	38	22	60
	ROS	3.2%	1.8%	2.5%
ストレージ&デバイス ソリューション	売上高	4,564	5,236	9,800
	営業損益	1,043	1,257	2,300
	ROS	22.9%	24.0%	23.5%
インダストリアルICT ソリューション	売上高	562	638	1,200
	営業損益	▲28	28	0
	ROS	▲5.0%	4.4%	0.0%
その他	売上高	1,179	1,121	2,300
	営業損益	▲52	▲158	▲210
消去	売上高	▲809	▲791	▲1,600
	営業損益	▲1	▲19	▲20
合計	売上高	11,436	12,364	23,800
	営業損益	967	1,133	2,100
	ROS	8.5%	9.2%	8.8%

設備投資（発注ベース）

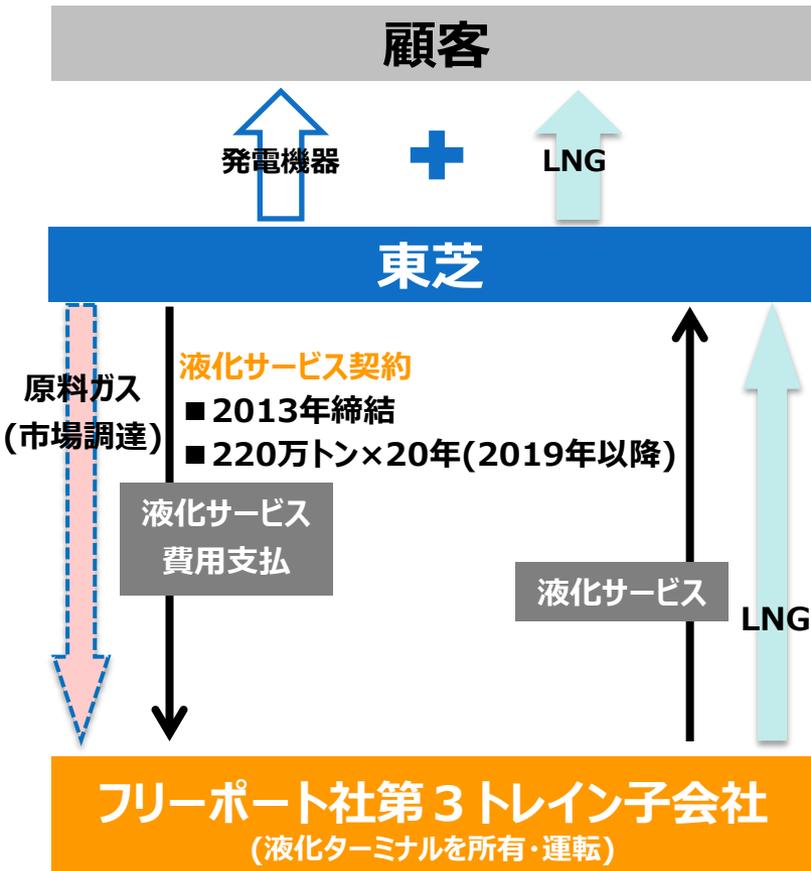
単位：億円

設備投資（発注ベース）	16年度 実績	17年度 見通し	17/1Q 実績	主な案件
エネルギーシステム ソリューション	144	200	14	－
インフラシステム ソリューション	266	450	79	北米拠点向け車載モーター関連設備投資
リテール&プリンティング ソリューション	70	140	20	－
ストレージ&デバイス ソリューション	3,632	3,300	2,595	メモリ製造建屋、建屋内装・動力設備、 製造設備
インダストリアルICT ソリューション	22	30	2	－
その他	111	130	19	－
合計	4,245	4,250	2,729	

投融資	60	800	/	
-----	----	-----	---	--

LNG事業（フリーポート）

液化天然ガス（LNG）の供給体制確立に向け米国現法を本格稼働開始



販売契約の獲得状況

- 液化役務契約総量220万トン/年について、契約期間20年のうち一定期間については、8割を超える複数の長期供給の発効条件付基本合意書（数量、価格、期間等合意）を締結済み
- 上記基本合意書締結済分と合せて、契約総量を超える規模の他商談継続中

具体的な活動進捗

- 2019年9月からのLNG引渡し開始へ向けた準備として、原料ガス等の調達、LNG供給を担う米国子会社（Toshiba America LNG）を設立（2017年2月）、運営開始（2017年7月）

会計上の取扱い

- 2017年度第1四半期決算においては、契約及び商談進捗状況を踏まえ、特段の会計処理は実施していない
- 備船手配・仕向け地決定のリードタイムを勘案し、運転開始の1年前からは、LNG販売が未締結の部分があり、かつSpot市場がコストを下回る場合には、先行1年における生じ得る損失相当額の引当計上を継続検討中

- なお、当社の本天然ガス液化役務契約は、資源権益への投資ではないため、減損会計の対象ではない

エネルギーシステムソリューション 主要事業内訳

単位：億円

		16年度 実績	業績予想		対前年	
			17/上	17年度	(17年度)	(伸長率)
エネルギーシステム ソリューション	売上高	9,749	4,300	9,200	▲549	(▲6%)
	営業損益	▲417	▲40	180	597	
	ROS	▲4.3%	▲0.9%	2.0%	6.3%	
原子力	売上高	1,821	688	2,008	187	(+10%)
	営業損益	▲451	▲46	62	513	
	ROS	▲24.8%	▲6.7%	3.1%	27.9%	
火力・水力	売上高	3,391	1,792	3,568	177	(+5%)
	営業損益	39	45	115	76	
	ROS	1.2%	2.5%	3.2%	2.0%	
送変電・配電等	売上高	2,977	1,316	3,076	99	(+3%)
	営業損益	27	▲11	47	20	
	ROS	0.9%	▲0.8%	1.5%	0.6%	
ランディス・ギア (連結)	売上高	1,812	※ 669	※ 669	▲1,143	(▲63%)
	営業損益	74	※ 35	※ 35	▲39	
	ROS	4.1%	5.2%	5.2%	1.1%	

※IPOまでの業績数値

インフラシステムソリューション 主要事業内訳

単位：億円

		16年度 実績	業績予想		対前年	
			17/上	17年度	(17年度)	(伸長率)
インフラシステム ソリューション	売上高	12,624	5,400	12,500	▲124	(▲1%)
	営業損益	584	10	420	▲164	
	ROS	4.6%	0.2%	3.4%	▲1.2%	
公共インフラ	売上高	4,219	1,337	3,856	▲363	(▲9%)
	営業損益	288	▲66	145	▲143	
	ROS	6.8%	▲4.9%	3.8%	▲3.0%	
ビル・施設	売上高	5,706	2,771	5,873	167	(+3%)
	営業損益	253	83	213	▲40	
	ROS	4.4%	3.0%	3.6%	▲0.8%	
産業システム	売上高	3,099	1,589	3,259	160	(+5%)
	営業損益	43	▲6	62	19	
	ROS	1.4%	▲0.4%	1.9%	0.5%	

※ 4月1日付でビル・施設ソリューション事業部を社会システム事業部に統合したことから、ビル・施設ソリューション事業部の16年度実績を、「ビル・施設」から「公共インフラ」に組み替えて表示している。

ストレージ&デバイスソリューション 主要事業内訳

単位：億円

		16年度 実績	業績予想		対前年	
			17/上	17年度	(17年度)	(伸長率)
ストレージ&デバイス ソリューション		売上高	17,002	9,800	19,200	2,198 (+13%)
		営業損益	2,470	2,300	4,150	1,680
		ROS	14.5%	23.5%	21.6%	7.1%
ストレージ	メモリ	売上高	8,972	5,637	11,639	2,667 (+30%)
		営業損益	1,866	2,094	3,712	1,846
		ROS	20.8%	37.1%	31.9%	11.1%
	HDD	売上高	4,613	2,299	4,230	▲383 (▲8%)
		営業損益	360	128	215	▲145
		ROS	7.8%	5.6%	5.1%	▲2.7%
デバイス他		売上高	3,417	1,864	3,331	▲86 (▲3%)
		営業損益	244	78	223	▲21
		ROS	7.1%	4.2%	6.7%	▲0.4%

その他

単位：億円

		16年度 実績	業績予想		対前年 (17年度) (伸長率)
			17/上	17年度	
PC	売上高	1,918	860	1,841	▲77 (▲4%)
	営業損益	▲5	▲25	5	10
	ROS	▲0.3%	▲2.9%	0.3%	0.6%
映像	売上高	616	244	588	▲28 (▲5%)
	営業損益	▲129	▲39	▲38	91
	ROS	▲20.9%	▲16.0%	▲6.5%	14.4%

TOSHIBA

Leading Innovation >>>